

平成 26 年度

事業実施報告書

目 次

平成26年度事業実施報告書

第1 概 要	1
第2 事業実施状況	2
基本方針Ⅰ 法人運営機能の強化	
推進目標1 組織推進体制・経営力強化	2
基本方針Ⅱ みんなで育む福祉のまちづくり	
推進目標1 県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成	6
推進目標2 地域福祉活動の振興	10
推進目標3 ボランティア活動の振興	17
推進目標4 関係機関・団体との連携・支援の推進	19
基本方針Ⅲ 一人ひとりの自立生活づくり	
推進目標1 高齢者の社会参加の促進	25
推進目標2 高齢者への生活支援の充実	28
推進目標3 障害者の社会参加の促進	30
推進目標4 生活安定への支援	27
基本方針Ⅳ 利用者主体の福祉サービスづくり	
推進目標1 福祉サービス利用者の権利擁護の推進	35
推進目標2 福祉サービス利用者の苦情解決支援の充実	41
基本方針Ⅴ 福祉を支える人づくり	
推進目標1 福祉従事者の確保・就労の促進と働きやすい職場づくりへの支援	45
推進目標2 介護の理解促進と知識・技術の普及・促進	53
推進目標3 福祉従事者の養成と資質向上の推進	56

平成26年度事業実施報告書

第1 概 要

平成26年度は、次の5本柱を基本方針に掲げ、新たなニーズへの対応や社協活動の啓発・広報強化、福祉団体との連携強化、事業評価を踏まえた新規事業の充実などに重点的に取り組んだ。

基本方針Ⅰ 法人運営機能の強化

医療介護総合確保推進法の施行や生活困窮者自立支援法の制定、社会福祉法人制度の議論など、社協の事業展開に影響を及ぼす社会情勢の変化を踏まえ、県社協として注力すべき課題に対して重点的かつ計画的に取り組む事業を「活動指針」としてまとめた。

基本方針Ⅱ みんなで育む福祉のまちづくり

3年目となる「福祉・介護・健康フェア」では目標を大きく上回る来場者数を達成するとともに、新たに福祉団体とマスコミとの懇談会を開催するなど、広報・啓発活動を強化した。

また、県内2大学との協働により、地域福祉を推進するための住民参加の手法や支援策の調査研究を行ったほか、福祉社会の発展と地域社会に貢献できる人材の育成を目的として、新潟医療福祉大学と包括的な連携協定を締結した。

災害時における要配慮者への支援を目的に平成25年度に発足したネットワーク協議会の啓発に努めたほか、新たに日本青年会議所新潟ブロック協議会と災害時相互協力協定を締結した。

基本方針Ⅲ 一人ひとりの自立生活づくり

高齢者の社会参加を進めて地域社会の活力を維持するため、「にいがたねりんピック」を開催するとともに、「高齢者大学」においては、引き続き修了生のネットワークづくりに取り組んだ。

「新潟県生活困窮者自立促進支援モデル事業」に取り組み、生活困窮支援対象者の自立の促進並びに新たな生活困窮者支援制度の構築に向けての課題の検討を行った。

生活困窮者の自立を支援するための「生活福祉資金の貸付」においては、償還の促進が借受者の自立につながることから、適正な運用と併せて償還指導の強化に努めた。

また、平成25年度に引き続き、県知事への予算要望や政策提言を県内福祉団体共同で実施した。

基本方針Ⅳ 利用者主体の福祉サービスづくり

判断能力の衰えた方が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援する「日常生活自立支援事業」が定着し、相談・利用者が増加する中、関係者との連携のもと利用者の支援に取り組んだ。

また、急速な高齢化を背景に対象者の急増が想定される「成年後見制度」の普及を促進するため、行政、後見専門職、市町村社協等と協働で、受け皿拡大のための啓発活動を推進した。

基本方針Ⅴ 福祉を支える人づくり

福祉に携わる人材を確保するため、福祉人材センターの機能を活用して求人、求職双方のマッチング事業に努めるとともに、福祉職場説明会や面談会、各種媒体を通じての啓発活動などに取り組んだ。

また、福祉施設で働く方々の資質の向上を目指す研修事業においては、新たに「キャリアパス対応生涯研修課程」を取り入れたほか、「コミュニティソーシャルワーク」や「気づき力」など、受講者のニーズに即した研修を実施した。

第2 事業実施状況

◎新規事業 ○見直事業・事項

基本方針 I 法人運営機能の強化

推進目標 1 組織推進体制・経営力強化

1 推進体制の確立

(1) 理事会

期日・場所	審 議 事 項
第1回 5月21日 新潟市	[審議事項] 第1号議案 平成25年度事業実施報告及び決算に関する件 第2号議案 評議員の改選に関する件 [報告事項] ① 生活困窮者自立支援制度への対応について ② 機関誌「福祉にいがた」の刷新について ③ 全社協調査結果からみた県内社協の概要について
第2回 3月26日 新潟市	[審議事項] 第1号議案 平成26年度収支補正予算に関する件 第2号議案 平成27年度事業計画及び収支予算に関する件 第3号議案 評議員の補欠選任に関する件 第4号議案 諸規程の一部改正に関する件 第5号議案 基本財産の賃貸借契約更新に関する件 [報告事項] ① 理事の補欠選任について ② 活動指針の策定について ③ 「連携協定」及び「協力協定」の締結について ④ 賛助会員の加入状況について ⑤ 広報媒体等を活用した広告協賛の状況について ⑥ 新潟県の指導監査による指摘事項とその対応について ⑦ その他

(2) 評議員会

期日・場所	審 議 事 項
第1回 5月21日 新潟市	[審議事項] 第1号議案 平成25年度事業実施報告及び決算に関する件 第2号議案 役員の改選に関する件 [報告事項] ① 評議員の改選について ② 生活困窮者自立支援制度への対応について ③ 機関誌「福祉にいがた」の刷新について ④ 全社協調査結果からみた県内社協の概要について
第2回 3月26日 新潟市	[審議事項] 第1号議案 平成26年度収支補正予算に関する件 第2号議案 平成27年度事業計画及び収支予算に関する件 第3号議案 理事の補欠選任に関する件 第4号議案 諸規程の一部改正に関する件 第5号議案 基本財産の賃貸借契約更新に関する件 [報告事項]

	① 評議員の補欠選任について ② 活動指針の策定について ③ 「連携協定」及び「協力協定」の締結について ④ 賛助会員の加入状況について ⑤ 広報媒体等を活用した広告協賛の状況について ⑥ 新潟県の指導監査による指摘事項とその対応について ⑦ その他
--	---

(3) 監事会

期日・場所	監 査 事 項
5月13日 新潟市	① 平成25年度事業の実施状況について ② 平成25年度一般会計及び生活福祉資金に係わる会計の決算及び財産の状況について

(4) 総合企画部会

期日・場所	出席委員数	協 議 事 項
1月26日 新潟市	8名	・部会長及び副部会長の選任について ・平成27年度事業計画案について ・新潟県社会福祉協議会活動指針について

(5) 会計実務実地指導

期 日	指 導 内 容
4月23日 4月28日	・平成25年度決算事務実地指導 指導者 公認会計士・税理士 逸見 和宏
11月21日	・平成26年度上半期会計事務実地指導 指導者 公認会計士・税理士 逸見 和宏

2 職員の育成・資質向上事業

(1) 職員研修実施要綱に基づく職員研修の実施

期日・場所	内 容
6月26日 新潟市	[第1回組織力向上(マネジメント)研修] ・会長講話 ・グループワーク「心の中のプロ意識」 ・県内視察報告
3月27日 新潟市	[第2回組織力向上(マネジメント)研修] ・会長講話 ・グループワーク「仕事の流儀」 ・県外視察報告
通 年	[実践研修] ◎① 「文書事務改善マニュアル」検討・作成(3名) ◎② 「県社協の社会貢献」検討・実施(4名)

	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座（72名） ・献血バスによる献血活動（18名）
通 年	[スキルアップ研修] 新潟国際情報大学オープンカレッジ及び新潟県女性財団法人材育成セミナーに職員が受講した。
通 年	組織活性化かわら版「すくらむ」の発行 年7回
1月20～21日 (初級コース) 2月17～18日 (中級コース) 三条市	災害支援コーディネーター養成研修（初級、中級）に参加し、災害支援活動に関する知識、技術の習得に努めた。 (初級コース：職員3名受講、中級コース職員1名受講)

3 福祉会館の管理運営

(1) 新潟ユニゾンプラザの管理運営

平成18年度より新潟県の指定管理者として、快適な環境のもとで利用が円滑に行われるよう施設の保守管理に万全を期すとともに、サービスの向上に努めた。

① 利用実績

貸 室 名	利用日数(利用率%)	利用回数(利用率%)
多目的ホール	189 (54.5)	362 (34.8)
大研修室	299 (86.2)	628 (60.3)
大会議室	279 (80.4)	567 (54.5)
中研修室	268 (77.2)	509 (48.9)
小研修室1	258 (74.4)	497 (47.7)
小研修室2	306 (88.2)	631 (60.6)
小研修室3	292 (84.2)	545 (52.4)
小研修室4	294 (84.7)	565 (54.3)
特別会議室	231 (66.6)	412 (39.6)
和 室	183 (52.7)	335 (32.2)
平 均	260 (74.9)	505 (48.5)

▶ 利用可能日数（開館日）347日、時間帯（午前、午後、夜間）、利用可能回数 1,041回

② サービス向上、利用者ニーズの把握と施設運営への取組

- ▶ インターネットによる利用予約申込みの周知
- ▶ 案内表示板の改善、会館の環境美化
- ▶ 駐車場の管理・運営（左折退場案内看板設置）
- ▶ 「お客様の声」箱の設置（常設）
- ▶ 利用者満足度アンケートの実施（年2回）
- ▶ 利用者懇談会の開催
- ▶ 接客マナー向上の取り組み・研修への参加

③ 利用者懇談会

期日・場所	協 議 事 項
10月28日 新潟市	・新潟ユニゾンプラザ利用者アンケート調査の結果について（報告） ・サービスの充実について（意見交換）

④ 利用者ニーズの反映・取組

- ▶ 特別会議室を教室形式での利用が可能な仕様とし、映像機器を新たに配備。
- ▶ 県外や新潟市外から車での来場が増えていることから、ホームページの地図情報（インターチェンジ及び駐車場への経路）を更新。
- ▶ 調理実習室前に試食コーナーを設置。
- ▶ 大会議室にブルーレイディスクプレーヤーと音響機器を設置。
- ▶ 小研修室用にプロジェクターと拡声装置を配備。
- ▶ 利用実態に即応した休館日を設定。
- ▶ 多目的ホールの調光操作卓更新。

⑤ 自主事業の取組

- ▶ 福祉用具の日（10月1日）のPR、福祉用具・啓発キャンペーンを実施（10月1日～31日）。
- ▶ 新潟まつり花火大会に合わせて、施設を一般県民に開放。
- ▶ 小中学校等福祉教育の一環として、施設見学への対応を実施。

(2) 旧新潟県社会福祉会館の管理運営

本会と新潟県共同募金会が共有する旧新潟県社会福祉会館を「新潟地区手をつなぐ育成会」に賃貸し、小規模作業所など障害者福祉活動の拠点として有効活用と維持管理に努めた。

基本方針Ⅱ みんなで育む福祉のまちづくり

推進目標1 県民の福祉への理解促進と福祉の心の醸成

1 新潟県民福祉大会開催事業

(1) 第64回新潟県民福祉大会

期日・場所	指 導 内 容
10月21日 妙高市	[研究集会] 第1研究集会 妙高ふれあいパーク 「生活困窮者やグレーゾーン支援の在り方を考える」 ～抜け漏れのない支援を目指して～ 第2研究集会 妙高高原体育館 「災害時における要配慮者支援について考える」 ～災害対応を効果的に進めるための体制作りについて～
10月22日 妙高市	[式典] 新潟県知事表彰 7名、4団体、1組 新潟県社会福祉協議会長表彰 117名、12団体、3企業(校・団体) 新潟県共同募金会長表彰 36名、3団体、2地区 [記念講演] 「マスオさん現象に見るこれからの家族」 ～家族の絆・地域の絆～ 俳優・声優 増岡 弘 氏

(2) 社会福祉関係者の表彰（新潟県社会福祉協議会長表彰）

表 彰 区 分	被表彰者数
① 民生委員児童委員表彰	58名
② 社会福祉団体役員表彰	10名
③ 社会福祉活動優良団体表彰	10団体
④ 社会福祉活動者表彰	10名
⑤ 社会福祉事業協力表彰	3団体
⑥ 永年勤続表彰	39名
⑦ 特別表彰（母子及び父子並びに寡婦福祉法施行50周年記念）	2団体

(3) 実行委員会等

- ① 第1回実行委員会 7月25日 新潟ユニゾンプラザ 小研修室3
▶ 審議事項：大会役員、大会運営、大会収支予算
- ② 会長表彰選考委員会 9月11日 新潟ユニゾンプラザ ボランティア交流室
- ③ 第2回実行委員会 9月26日 新潟ユニゾンプラザ 小研修室3
▶ 審議事項：準備状況(大会日程、来賓出席状況、研究集会内容)
- ④ 事業実施報告 1月5日 文書発送
▶ 報告事項：実施概要報告、大会決算、平成27年度計画

2 福祉・介護・健康フェア開催事業

(1) 福祉・介護・健康フェア2014

一般県民の福祉に関する理解促進を図るため、新潟市社会福祉協議会及び新潟日報社と連携して「福祉・介護・健康フェア2014」を開催した。

同時開催：「中越大震災10周年事業」「高齢者芸術文化祭」「『介護の日』県民のつどい」

① 実施概要

期日・場所等	内 容
11月3日 新潟市 (参加者13,000名)	<p>[メインステージ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康ファイルで生き生き（イキイキ）ライフ ～もしかしてだけど寸劇で私のこと誘ってるんじゃないの～ 自分の目は自分で護る～いい視力を保ち、ご機嫌に長生きするため～ 綾戸智恵のめっちゃええ話 これは聞かなあかん！ ～母の介護をとおしてみえたもの～ 医療・介護の現場をめざす学生と考える いのちを守る口腔ケアとは 地域包括ケアの総括 フリートークショー <p>[ふれあいステージ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 介助犬ふれあい教室 孤独死0へ 高齢者等あんしん見守り活動啓発 ～昨日までは他人事・・・でも明日は自分かもしれない～ 介護・福祉を語る！福祉・医療に関する課題や地域包括ケアシステムについて その他各種講演・セミナー等 <p>[展示ゾーン]</p> <ul style="list-style-type: none"> 出展団体(企業)：121ブース出展 社協PRブースの出展（ブース内にて不動産利活用相談を実施） <p>[被災地支援コーナー]</p> <ul style="list-style-type: none"> 5ブース出展 <p>[産直コーナー]</p> <ul style="list-style-type: none"> 6ブース出展 <p>[特殊車両展示]</p> <ul style="list-style-type: none"> 展示数10台 <p>[高齢者芸術文化祭作品展示]</p> <ul style="list-style-type: none"> 展示作品数約120点 <p>[中越大震災10周年事業 パネル展]</p> <ul style="list-style-type: none"> 展示パネル数20点 <p>[子ども広場]</p> <ul style="list-style-type: none"> おもちゃ病院、木工教室 バルーンアート ～ピエロと遊ぼう～ オールアルビレックスによる子ども向け運動教室 新聞ロール紙を使った落書きコーナー エコバッグ教室、折り紙教室 <p>[スノーホールA]</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度 社会福祉功労者表彰式 ・会員大会に替えて ・介護の喜びコンテスト2014 表彰式 ・その他各種セミナー・講演等 <p>[スノーホールB]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中越大震災10周年事業 「中越大震災からの復興と未来への歩み～これまでの10年とこれからの10年に向けて～」 ・その他各種セミナー・講演等 <p>[福祉のよろず相談コーナー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7ブース設置 <p>[福祉の店パレット周年祭]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出展施設（事業所）：29施設
--	--

② 周知・広報活動

- ▶ 新潟日報紙面における広告掲載：12頁フルカラー1回、出展者募集半5段広告3回、開催告知5段広告カラー8回・モノクロ1回、事業告知1回
- ▶ 福祉新聞紙面における広告掲載：全三段フルカラー1回、半5段フルカラー1回、全5段フルカラー1回
- ▶ 掲示・配付物：折込チラシ163,000部、ポスター1000部、チラシ48,000部
- ▶ 月刊 CARREL への綾戸智恵氏インタビュー及び広告掲載
- ▶ リーフレット「M-W a l k」への広告掲載
- ▶ 新潟交通バス天吊り
- ▶ TV放送：16回
- ▶ ラジオ放送：開催告知258本、パブリシティ4本、当日生放送1本
- ▶ デジタルサインage 放映：イオンモール新潟南店・イオン新潟青山店、流作場五差路、ダムズ竹尾店・小新店、メディアシップ館内
- ▶ イベント専用ホームページの運営

3 福祉情報提供事業

(1) 県社協ホームページの運営

各担当部署による適切な情報提供を実施した。

バナー広告掲載：平成27年3月末現在で10企業・団体。

(2) 図書情報ルームの運営

福祉関係図書等の閲覧・貸出、ビデオ・DVDの貸出、パソコンによる福祉情報の提供を行った。また、県内福祉関係施設の機関誌を整理・開架し、一般の利用者が閲覧できるようにした。

【利用実績】

事 項	利用実績
利用者数	4,681名
利用登録者数	3,639名
図書貸出数	319冊
視聴覚資料貸出数	93点
相談件数	24件

◎(3) 福祉団体とマスコミとの懇談会

顕在化するさまざまな福祉課題に対処するため、福祉団体とマスコミとのパイプづくりを目指した。

福祉団体からの問題提起に対し、新聞・テレビからの問い合わせや記事化が相次いだほか、その後も懇談会で築いたルートを使っての情報提供、取材に有効活用している。

2回目は、共同要望活動に向けたテーマで実施し、活発に論議した。

▶第1回 7月25日（金）参加者＝マスコミ5社7人・福祉団体13団体21名

▶第2回 10月27日（月）参加者＝マスコミ3社5人・福祉団体11団体18名

(4) データブック「新潟県のふくし」の作成・配布

県内の福祉関係者・団体の活動に役立てることを目的に、県内の福祉に関する基礎的データを集約した「新潟県のふくし」を作成し、第64回新潟県民福祉大会参加者等へ配布した。

▶ 作成部数：2,000部

▶ 内 容：世帯、高齢者、結婚・出生、児童、障害者、生活困窮・孤立等、社会への貢献意識等、社会福祉関係登録者数に関するデータ、指標でみる新潟県の姿

◎(5) 社会福祉史関係資料の保存と利用促進

「越佐社会事業（昭和4年～12年）」の保存と利用促進のため、原本の修復と復刻版の作成をした。福祉にいがた等で広報し利用の促進を図った。

4 機関誌発行业

(1) 「福祉にいがた」の発行

「福祉にいがた オアシス21」と一体的運用をすることで4ページ増（12ページ建て）を実現、新たに巻頭特集を掲載し、福祉団体などの現状や活動を報告した。

また、県社協の事業や活動をはじめ、県内外のニュース、福祉実践活動や研究活動の事例などは従来通り幅広く紹介した。

体裁も横組みから縦5段組に一新、広告掲載にも取り組んだ。

▶ 発行実績：年9回、各15,000部 年3回（オアシス組み込み）、各20,000部

(2) 総合情報誌「福祉にいがた オアシス21」の発行

明るい長寿社会づくりを目的に、主に高齢者の活動を紹介する一方、「福祉にいがた」との一体的運用により各回4ページ増やし、巻頭特集を新設するなど情報量を拡充した。

また、高齢者以外の福祉関係者にも情報を発信するため、発行部数も20,000部に倍増した。

▶ 発行実績：年3回、各20,000部

5 共同募金・たすけあい運動等推進事業

(1) 共同募金運動・歳末たすけあい運動の推進

社会福祉法第119条の規定に基づき、新潟県共同募金会に対し、募金の目標額及び配分方法等について意見具申をするとともに、募金運動の推進に積極的に協力した。

(2) 各福祉週間事業の推進

各種週間事業（子どもの日－児童福祉週間、老人の日－老人週間、障害者の日－障害者週間）について、ポスターの配布等を通じて県民の意識啓発に努めた。

推進目標 2 地域福祉活動の振興

1 地域福祉活動推進事業

(1) 地域福祉活動支援プログラム構築事業

多様化する住民の生活課題に対応するため、大学等研究機関との協働により、日常生活圏での住民の福祉活動を推進する効果的な住民参加の手法、支援プログラムの構築に向けて調査・研究した。

大学名	テーマ・事業内容
新潟青陵大学	[地域における新たな共生・共助の拠点形成とモデルの展開] 実施地域：三条市 ① 社会福祉施設における地域貢献活動についてのヒアリング調査の実施 ② 社会福祉法人の地域における公益的な活動に関する実態把握調査の結果分析 ③ 住民座談会の実施 ④ フォーラム「誰もが主役になれる地域支え合いの拠点づくりを目指して」の開催
新潟医療福祉大学	[多様な主体による「新たな支え合いモデル」の構築に関する実証的研究] 実施地域：五泉市 ① 住民説明会の実施 ② 地域行事に合わせた交流会の実施 ③ サロン活動を通じた交流とニーズ把握

◎ (2) 居場所ネット創出事業

県内の実践団体の状況や地域課題を把握・分析し、サロン活動等の機能強化を通じて地域力の向上に努めた。

① 住民参加型在宅福祉サービス担当者会議

期日・場所等	内容
第1回 9月24日 新潟市 (参加者35名)	事業説明「地域の居場所ネット創出事業の展望について」 新潟県社会福祉協議会地域福祉課主事 坂野 健一郎 講義「なぜ今、住民参加型在宅福祉サービスが必要なのか」 支え合いのしくみづくりアドバイザー 河田 珪子 事例報告「南魚沼市社協の取組について～なじよもネットを通じて～」 南魚沼市社会福祉協議会係長 本多 博樹

	情報交換「新潟県内の住民参加型在宅福祉サービスの取組状況について」
第2回 11月25日 新潟市 (参加者19名)	事業説明「第1回目のふりかえり」 新潟県社会福祉協議会地域福祉課主事 坂野 健一郎 講義「再考(最高)、居場所の意義」 ～新地域支援事業の要も居場所です～ 支え合いのしくみづくりアドバイザー 河田 圭子 事例報告「みんなの居場所」 みんなの家ともとも代表 村山 多恵子 情報交換「居場所と住民参加型在宅福祉サービス」
第3回 1月22日 新潟市 (参加者30名)	事業説明「第1回目のふりかえり」 新潟県社会福祉協議会地域福祉課主事 坂野 健一郎 視察「実家の茶の間・紫竹」 講義「今後の居場所をデザインする」～受容・連携・派生～ 支え合いのしくみづくりアドバイザー 河田 圭子 情報交換「今後の居場所づくりについて」

② 地域福祉推進フォーラムinたいない

期日・場所等	内 容
3月1日 胎内市 (参加者315名)	基調講演「CSWと生活困窮者自立支援10のキーワード」 大阪府豊中市社会福祉協議会次長 勝部 麗子 シンポジウム「わが『まち』の地域福祉を共にすすめるために」 ～誰もが役割を持てる社会へ～ コメンテーター 大阪府豊中市社会福祉協議会次長 勝部 麗子 コーディネーター 敬和学園大学共生社会学科専任講師 川本 健太郎 シンポジスト 胎内市健康福祉課高齢福祉係長 須貝 正則 胎内市社会福祉協議会地域福祉係長 佐藤 純子 県新発田地域振興局地域福祉課長 上村 正朗

③ ふくしフォーラムinにいがた

期日・場所等	内 容
3月3日 新潟市 (参加者110名)	講演「地域の風景を描く～今後の『ふくし』のあり方を考える～」 全国地域生活支援ネットワーク代表理事 大原 裕介 セッション「これから先の地域のはなし」 全国地域生活支援ネットワーク代表理事 大原 裕介 みんなでいきる副理事長 片桐 公彦

④ 居場所フォーラムinじょうえつ

期日・場所等	内 容
3月10日 上越市 (参加者90名)	講演「ずっと変わらない居場所に込める思い」 支え合いのしくみづくりアドバイザー 河田 瑠子 シンポジウム『『お互い様』の迷惑をかけながら支え合う地域づくり」 中越福社会常務理事 涌井 幸夫 マミーズネット理事長 中條 美奈子 支え合いのしくみづくりアドバイザー 河田 瑠子

(3) 地域福祉協働推進フォーラム

包括的な個別支援と地域づくりを目指す生活困窮者自立支援制度の周知と関係機関・団体の事業への取組の促進を図ることを目的にフォーラムを開催した。

期日・場所等	内 容
1月27日 新潟市 (参加者245名)	行政説明「県の生活困窮者自立支援制度への取り組みについて」 県福祉保健部福祉保健課保護係主任 小林 誠 実践報告「平成26年度生活困窮者自立促進支援モデル事業等の進捗状況」 新潟市パーソナル・サポートセンター総括相談支援員 蛸原 勝 柏崎市社会福祉協議会生活支援係長 大塚 真光子 新潟県社会福祉協議会地域福祉課主事 坂野 健一郎 講演「入りやすく出やすい生活保護と生活困窮者支援がつながって人と地域を耕そう」 釧路社会的企業創造協議会副代表 櫛部 武俊

(4) 中越大震災10周年事業

中越大震災から10年を迎え、この10年間の被災地における復旧・復興の取り組みを振り返り、災害に強い地域づくりを進めることを目的に開催した。

期日・場所等	内 容
11月3日 新潟市 (参加者13,000人)	講演「中越大震災からの復興と未来への歩み」～これまでの10年とこれからの10年に向けて～ 復興副大臣 長島 忠美 対談「中越大震災からの復興と未来への歩み」～これまでの10年とこれからの10年に向けて～ 復興副大臣 長島 忠美 歌手 小林 幸子 コーディネーター 菊野 麻子 ・車両展示 自衛隊、国土交通省北陸地方整備局、新潟県警察、新潟市消防局、日本赤十字社新潟県支部 ・地震体験 国土交通省北陸地方整備局 ・避難所体験 新潟医療福祉大学 ・防災用品展示 14企業、団体 ・中越大震災パネル展示

2 市町村社協活動支援事業

(1) 市町村社協事務局長会議

県内市町村社協の事務局長が一堂に会し、諸課題に対する議論を深めるとともに情報を共有することを目的に開催した。

期日・場所	協 議 事 項
6月5日 新潟市	① 平成26年度県社会福祉協議会の重点事業等について ② 平成26年度市町村社会福祉協議会の重点事業等について ③ 社協をめぐる諸課題について ・ 生活困窮者自立支援モデル事業について ・ その他 ④ その他 ・ 県社協役員、評議員の改選について ・ 県社協の組織改正について ・ 県社協表彰規程の改正について ・ 市町村社協に係る行事予定

(2) 地域福祉活動計画等の策定支援

地域福祉活動計画や市町村社協発展強化計画策定支援のため、市町村社協が行う検討会議への参加（新潟市社協、胎内市社協、関川村社協）や先進事例等の情報提供を行った。

(3) 地域福祉計画・活動計画策定研修会

市町村社協及び市町村行政職員を対象とした研修会を開催した。

期日・場所等	内 容
7月30日～31日 新潟市 (参加者22名)	講義「地域福祉（活動）計画の理解」 演習「策定演習」 事例紹介「燕市社協、胎内市社協」 作新学院大学女子短期大学部幼児教育科 教授 坪井 真

(4) 市町村社協職員担当者研修会

市町村社協の地域福祉担当者等を対象に、階層別、課題テーマ別に業務推進に必要とされる知識や技術の習得を図ることを目的に研修会等を開催した。

① 社協・共募新任及び初級職員研修（社会福祉施設新任職員研修）

期日・場所等	内 容
4月22日～23日 新潟市 (参加者35名)	講義「社会福祉協議会概論」 新潟県社会福祉協議会地域福祉課長 山田 修一 講義「共同募金運動の今」 新潟県共同募金会係長 藤田 亨 講義「社会福祉協議会の実務①」 南魚沼市社会福祉協議会係長 本多 博樹 上越市社会福祉協議会主事 矢澤 智也

	佐渡市社会福祉協議会係長	須藤 信弘
ミニトーク	小千谷市社会福祉協議会主事	渡辺 匠海
	関川村社会福祉協議会主事	平田 達哉
	燕市社会福祉協議会主事	門谷 淳子
講義「社会福祉協議会と災害支援」	新潟県社会福祉協議会地域福祉課主事	坂野 健一郎
演習「社会福祉協議会の業務」		
	新発田市社会福祉協議会係長	川瀬 聖志
	上越市社会福祉協議会主任	佐藤 貴規
	胎内市社会福祉協議会主事	河内 篤
講義「社会福祉協議会の実務②」		
	妙高市社会福祉協議会係長	馬場 正美
	柏崎市社会福祉協議会主事	辻之内 真紀雄
	津南町社会福祉協議会主事	石沢 好美
	長岡市社会福祉協議会主任	河井 大介

② 市町村社協事業課題整理研修会

期日・場所等	内 容
第1回 8月6日	【第1回】
第2回 9月10日	講義・ワークショップ「コーチング技法の活用と事業課題の洗い出し」
第3回 10月8日	【第2回】
新潟市	講義・ワークショップ「コミュニケーション技法の活用と課題整理」
(参加者12名)	【第3回】
	講義・ワークショップ「チームマネジメントの理解と事業課題の解決」
	中越防災安全推進機構チーフコーディネーター 河内 毅
	鍼灸師整体師 鈴木 克成

③ 広報研修会

期日・場所等	内 容
第1回	講義「撮ってみよう!! 会心の一枚」
7月28日	実践講座「撮影実習」
新潟市	発表・講評
(参加者31名)	新潟日報社 編集局写真部記者 佐藤 勝矢
第2回	講義「作ってみよう! 魅せる広報誌」Part 2
11月28日	実践講座「見出し、誌面作成」
新潟市	発表・講評
(参加者22名)	新潟日報社 編集局整理部長代理 小林 正史

(5) 市町村社協介護保険事業経営セミナー

市町村社協の役員、管理職員及び介護保険事業所の管理者等を対象に、市町村社協における介護保険事業の安定的な経営の確保や質の向上を図ることを目的に開催した。

期日・場所等	内 容
9月4日～5日 新潟市 (参加者16名)	講義「社会福祉協議会と介護保険事業の経営戦略」 講義「事業所管理者に求められる役割」 講義「介護保険事業の経営分析」 個人ワーク「自法人の経営指標算出」 グループワーク「経営課題の要因と解決策の方向性を検討」 実践紹介「介護保険事業経営改善の取組」 上越市社会福祉協議会 グループ発表と講評 株式会社川原経営総合センター 福祉経営コンサルティング部シニアコンサルタント 大坪 信喜 事業推進企画室主任コンサルタント 成田 勝

(6) 災害救援活動の推進

① 災害救援活動に関する人材養成事業（研修開催）

災害救援活動を的確に遂行できる社協職員の養成を目的に研修会を開催した。

【災害支援コーディネーター養成研修会（新潟県災害ボランティア調整会議と共催）】

期日・場所等	内 容
初級コース 1月20日～21日 三条市 (参加者30名)	① 講義「災害ボランティアセンターとは」 講師:にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄 ② 演習「HUG」 講師:にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄 ③ 講義・演習「災害ボランティアセンターの実際」 講師:長岡市社会福祉協議会 本間 和也 ④ パネルディスカッション 「関係団体による被災者支援拠点の運営支援と被災者支援について」 コーディネーター:燕市社会福祉協議会 佐藤めぐみ コメンテーター:くびき野 NPO サポートセンター 近藤 尚仁 :連合新潟柏崎地域協議会 西巻 淳一 :柏崎民生委員児童委員協議会 高野 八千代 :柏崎市社会福祉協議会 辻之内 真紀雄 ⑤ 講義・演習「被災者支援拠点の運営と被災者支援の方法について」 講師:にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄 :中越防災安全推進機構 河内 毅 :新潟県社会福祉協議会 河野 弘輝
中級コース 2月17日～18日 三条市 (参加者35名)	① 演習「クロスロード」 講師:新潟 NPO 協会 井上 基之 :南魚沼市社会福祉協議会 笛木 由貴 :上越市社会福祉協議会 青木 麻衣 ② 講義「支援におけるヒト・モノ・カネ」

	講師:にいがた災害ボランティアネットワーク :長岡市社会福祉協議会 :三条市社会福祉協議会	李 仁鉄 本間 和也 鍋島 弘樹
③	講義「コミュニケーションとスタッフケア」 講師:中越防災安全推進機構	河内 毅
④	講演「災害ボランティアセンターにおける広報と情報発信、管理」 講師:中央共同募金会	城 千聡
⑤	講義・ワークショップ「広域支援・連携の必要性」 講師:くびき野 NPO サポートセンター :長岡市社会福祉協議会	近藤 尚仁 吉野 久美子
⑥	パネルディスカッション「被災者支援における専門職団体との連携」 講師:にいがた災害ボランティアネットワーク :新潟合同法律事務所 :つばめ福祉会	李 仁鉄 二宮 淳悟 立川 和彦
⑦	ワークショップ「発災・復旧・復興への道のり」 講師:中越防災安全推進機構	河内 毅

② 県内社協における災害救援活動に関する相互支援協定締結社協の連絡名簿の整備

災害時において連絡調整を円滑に行うため、相互支援協定締結社協の連絡名簿を更新整備した。

③ 大規模災害に備えた市町村社協組織運営に関する重要書類の保管

大規模災害等で書類紛失に備え、県内全市町村社協の組織運営に関する重要書類である定款及び諸規程、役員名簿、事業実施報告書及び決算書、事業実施計画書及び予算書の保管、整備を行った。

④ 新潟県内における豪雪への対応

新潟県内の豪雪に対応するため、新潟県内における積雪・降雪及び被害状況、除雪ボランティア募集情報、除雪ボランティア活動状況の情報を収集し、1月から3月までホームページに掲載し情報発信した。

◎⑤ 県外で発災した災害への災害ボランティアセンターへの職員派遣及び被災地支援

全国に多発した災害被害に際し、情報収集・情報発信を行った。

【地震】11月22日 長野県（小谷村災害ボランティアセンターの運営視察）

【大雨】7月9日 山形県、長野県

8月19日 広島県（活動資金10万円を広島県社協及び広島市社協に寄付）

(7) 新潟県社協メール情報の配信

市町村社協に新潟県社協メール情報を随時発信し、全国情勢等の福祉情報提供を行った。

▶ 配信数及び提供記事数：30回、139記事

推進目標3 ボランティア活動の振興

1 ボランティア活動・社会貢献活動推進事業

(1) ホームページ「ボランティアのひろば」の運営

ボランティアに関する県民への情報提供と活動者同士の情報共有を図るため、ホームページの運営を行った。

(2) 県民たすけあい基金運用益助成事業の推進

管理運営委員会において、基金の管理・運営・基金助成事業の実施方策等を審議し、基金事業の適正な管理・運営並びに助成事業の効果的な実施に努めた。

① 県民たすけあい基金管理運営委員会

期日・場所	協 議 事 項
第1回 6月27日 新潟市	[報告事項] ・平成25年度助成事業報告について [協議事項] ・委員長及び副委員長の選任について ・平成26年度第2回助成事業の採択について ・今後の助成事業について
第2回 11月18日 新潟市	[報告事項] ・平成26年度助成事業実施状況について [協議事項] ・平成26年度第3回助成事業の採択について ・今後の助成事業について
第3回 2月12日 新潟市	[報告事項] ・平成26年度助成事業実施報告について [協議事項] ・平成27年度第1回助成事業の採択について

② 県民たすけあい基金運用益助成事業

ボランティアグループ等の活動を支援するため、活動に必要な経費を助成した。

助 成 事 業	助成件数	金額(円)
ボランティアグループ・団体が行う活動事業	48	13,245,000
学習・研修事業	(7)	(1,258,000)
福祉教育・啓発事業	(6)	(1,666,000)
調査研究事業	(2)	(698,000)
活動に必要な機器等整備事業	(18)	(4,621,000)
サービス活動事業	(15)	(5,002,000)
市町村社協・ボランティアセンターが行うボランティア活動振興事業	10	3,035,000
学習・研修事業	(3)	(385,000)
福祉教育・啓発推進事業	(1)	(500,000)

災害ボランティア活動推進事業	(3)	(943,000)
その他試行的・モデル的事業	(3)	(1,207,000)
ボランティア活動の拠点整備事業	(0)	(0)
◎東日本大震災避難者支援団体が行うボランティア活動振興事業	4	2,325,000
東日本大震災避難者支援事業	(4)	(2,325,000)
自殺予防支援事業	4	1,848,000
自殺予防支援事業	(4)	(1,848,000)
県社協が行うボランティア活動振興事業	1	1,500,000
ボランティア活動振興事業	(1)	(1,500,000)
合 計	68	21,953,000

(3) 民間社会福祉施設備品整備助成事業

民間社会福祉施設の備品等整備の充実を支援するため、社会福祉基金の運用益を助成した。

助成件数・額	助成対象備品・助成施設種別
23件 2,990,000円	<p>[助成対象備品]</p> <p>防火・防災対応に係る備品（真空パック難燃毛布、発電機等）</p> <p>[助成施設種別]</p> <p>認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、障害者ケアホーム・グループホーム（共同生活援助）</p>

(4) 寄付等の受入調整

企業等の社会貢献活動が積極的に行われるよう、福祉の現状等の情報を企業等へ提供するとともに寄付・寄贈や招待事業などの調整を行った。

寄付種別	寄付内容・寄贈配分先
現金16件 3,859,903円	<p>社会福祉基金寄付金 3件 55,295円</p> <p>社会福祉施設等指定寄付金 13件 3,804,608円</p> <p>福祉施設 14件(高齢9、障害5、困窮1)、ボランティア団体12件</p>
物品5件	<p>車両、感染予防セット、すし折詰、カップ麺等</p> <p>福祉施設37件、NPO法人3件</p>
招待2件	<p>音楽鑑賞、コンサート</p> <p>障害関係者、児童関係者、東日本大震災県内避難者</p>

(5) 寄付のマッチング事業「ファンドレイジング福祉にいがた」

新潟県内に寄付の文化を根付かせ、福祉活動や地域活動等の自主財源の確保を通じて地域福祉の推進に寄与することを目的に寄付のマッチングサイト「ファンドレイジング福祉にいがた」を構築した。(平成27年6月本稼働)

推進目標 4 関係機関・団体との連携・支援の推進

1 関係機関・団体との連携・支援事業

(1) 種別協議会や当事者団体等の連携・調整活動

① 福祉団体等懇談会

県内の福祉団体が相互の連携を深め、情報交換を図ることを目的に懇談会を開催した。

期日・場所等	協 議 事 項
第1回 6月9日新潟市 (16団体参加)	① 行政説明 新潟県福祉保健部 部長 本間 俊一 ② 情報交換
第2回 2月16日新潟市 (17団体参加)	① 平成27年度新潟県社会福祉政策・予算要望の結果について ② 行政説明 新潟県福祉保健部福祉保健課 課長 山田 富美子 ③ 懇 談

◎ ② 福祉団体との連携・協働を基盤とした政策提言・要望活動

ア 県担当課長と福祉団体の意見交換会

期日・場所等	出 席 者
県児童家庭課長と福祉団体の意見交換会 10月8日 新潟市	新潟県福祉保健部児童家庭課課長 土田 まゆみ [出席団体] ・新潟県母子寡婦福祉連合会 ・新潟県手をつなぐ育成会 ・新潟県社会福祉協議会
県障害福祉課長と福祉団体の意見交換会 10月8日 新潟市	新潟県福祉保健部障害福祉課課長 斎藤 有子 [出席団体] ・新潟県社会福祉協議会 ・新潟県身体障害者団体連合会 ・新潟県手をつなぐ育成会 ・新潟県精神障害者家族会連合会 ・新潟県介護福祉士会
県福祉保健課長と福祉団体の意見交換会 10月9日 新潟市	新潟県福祉保健部福祉保健課課長 山田 富美子 [出席団体] ・新潟県社会福祉協議会 ・新潟県民生委員児童委員協議会 ・新潟県老人福祉施設協議会 ・新潟県社会福祉士会 ・新潟県介護福祉士会
県高齢福祉保健課長と福祉団体の意見交換会 10月9日 新潟市	新潟県福祉保健部高齢福祉保健課課長 堀井 淳一 [出席団体] ・新潟県老人クラブ連合会 ・新潟県社会福祉協議会

イ 県知事及び県福祉保健部長に対する要望活動

期日・場所等	出 席 者
11月19日 新潟市	[要望先] 新潟県知事 泉田 裕彦 新潟県福祉保健部副部長 池田 紀夫 [出席者名] ・新潟県社会福祉協議会会長 竹内 希六 ・新潟県民生委員児童委員協議会会長 長谷川 剛 ・新潟県老人福祉施設協議会会長 市井 栄吉 ・新潟県老人クラブ連合会会長 川崎 悌吉 ・新潟県身体障害者団体連合会常務理事 竹森 登志男 ・新潟県手をつなぐ育成会理事長 片桐 宣嗣 ・新潟県精神障害者家族会連合会理事長 星 真人 ・新潟県母子寡婦福祉連合会会長 中野 キン子 ・新潟県社会福祉士会副会長 星井 勝博 ・新潟県介護福祉士会会長 宮崎 則男

② 福祉団体の自主活動への共催・後援等

期日・場所	大会名・団体名
4/19 新潟市	社会福祉法人新潟いのちの電話開局30周年感謝の集い (新潟いのちの電話)
4/19~5/25 見附市	わくわく動物園 (東北サファリパーク)
5/18 新潟市	第15回新潟県障害者スポーツ大会 (新潟県)
5/23 阿賀野市	第59回新潟県保育事業研究大会 (新潟県保育連盟)
5/30 新潟市	第45回新潟県精神障害者家族会連合会大会 (新潟県精神障害者家族会連合会)
6/7 新潟市	新地域支援事業への取組みを考えるフォーラム (さわやか福祉財団)
6/7~8 新潟市	第15回日本子ども家庭福祉学会全国大会 (日本子ども家庭福祉学会)
6/7~8 新潟市	ささえあい新潟フェスタ2014 (ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟)
6/7~7/6 聖籠町	わくわく動物園 (東北サファリパーク)
6/17 新潟市	第59回新潟JCフォーラム「想定外の大規模自然災害に備える」 (新潟青年会議所)
6/20~7/19	新潟県薬物乱用防止委「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 (新潟県薬物乱用対策推進本部)
6/21 新潟市	第7回東日本大震災チャリティイベント「百花繚乱2014夏」 (新潟恩返しプロジェクト)
6/28 柏崎市	第19回新潟県手をつなぐ育成会柏崎大会 (新潟県手をつなぐ育成会)
6/28 上越市	福祉住環境コーディネーターネットワーク第14回総会記念市民公開講座 (福祉住環境コーディネーターネットワーク)
6/29 胎内市	第38回新潟県聴覚障害者ソフトバレーボール交流大会 (新潟県聴覚障害者協会)
7/6 聖籠町	第56回新潟県母子寡婦福祉大会 (新潟県母子寡婦福祉連合会)
7/19~20 三条市	日本ケアマネジメント学会第13回研究大会 (日本ケアマネジメント学会)
7/26 新潟市	新潟県ホームヘルパー研究大会 (新潟県ホームヘルパー協議会)
7/27~11/8 新潟市	第27回社会福祉士国家試験受験対策講座(5日間) (新潟県社会福祉士会)
8/1 胎内市	地域福祉フォーラムinたいない (新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部)
8/3 新潟市	国際こども・福祉カレッジ創立20周年記念事業 (国際こども・福祉カレッジ)

8/8	新潟市	平成26年度福祉関係者のための成年後見活用講座	(新潟県社会福祉士会)
8/22	南魚沼市	第25回南魚沼地区社会福祉大会	(南魚沼地区社会福祉大会実行委員会)
8/25	新潟市	新地域支援事業の取組・地域支え合いを考えるフォーラム	(さわやか福祉財団)
8/31	新潟市	中高年者のための悪質商法被害防止と生きがいつくり講座	(ハッピーライフ新潟)
9/5	小千谷市	「ほのぼの」開設15周年記念式典	(ほのぼの小千谷福祉会)
9/1~12/31		第62回手足の不自由な子どもを育てる運動	(新潟県肢体不自由児協会)
9/6	魚沼市	魚沼市社会福祉協議会合併10周年記念魚沼市社会福祉大会	(魚沼市社会福祉協議会)
9/6	見附市	中高年者のための悪質商法被害防止と生きがいつくり講座	(ハッピーライフ新潟)
9/7	村上市	第14回新潟県聴覚障害者大会	(新潟県聴覚障害者協会)
9/20~21	上越市	2014にいがたワーク&ライフフォーラムin上越	(フォーラムin上越実行委員会)
9/20~21	長岡市	中越地震復興10年 来て、見て、学ぼう!みんなの防災フェア2014 (テレビ新潟放送網)	
9/24~25	柏崎市	第20回新潟県老人福祉施設研究大会	(新潟県老人福祉施設協議会)
9/27	新潟市	第20回チャリティ講演会	(生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会)
10/3	上越市	第31回がん征圧新潟県大会	(新潟県健康づくり財団)
10/4	新潟市	健康生きがいつくりセミナー2014	(ハッピーライフ新潟)
10/4	新潟市	新潟しなの福祉会「設立10周年記念式典」	(新潟しなの福祉会)
10/4	新発田市	敬和学園大学人文学部共生社会学科開設10周年	(敬和学園大学)
10/5	新潟市	新潟県視覚障害者福祉大会・新潟県視覚障害者文化祭	(新潟県視覚障害者福祉協会)
10/25~11/24	南魚沼市	わくわく動物園	(東北サファリパーク)
10/8	胎内市	平成26年度胎内市社会福祉大会	(胎内市社会福祉協議会)
10/8	長岡市	精神保健福祉研修会「共生を目指して」	(新潟県精神障害者家族会連合会)
10/11	新潟市	子どもの貧困とひとりぼっちのないまちづくりをめざして	(新潟県社会福祉士会)
10/13	新潟市	赤い羽根共同募金応援チャリティゴルフコンペ	(新潟県共同募金会)
10/16	上越市	第50回新潟県老人福祉大会	(新潟県老人クラブ連合会)
10/18	阿賀野市	第11回阿賀野市社会福祉大会	(阿賀野市社会福祉協議会)
10/19	新潟市	にいがた公的扶助研究セミナー	(にいがた公的扶助研究会)
10/21	長岡市	第38回北越銀行賞表彰式	(北越銀行)
10/24	新潟市	オレンジリボン運動支援ゴスペルワークショップ2014 (ゴスペルイベント実行委員会)	
10/26	新潟市	第47回新潟県身体障害者福祉大会	(新潟県身体障害者団体連合会)
10/26	新潟市	新潟アクティビティ・ケアフォーラム2014	(アクティビティ・ケア新潟支部)
11/1	新潟市	第6回東北7県医療連携実務者協議会	(東北7県医療連携実務者協議会)
11/8	新潟市	新潟青陵学会第7回学術集会	(新潟青陵学会)
11/9	新潟市	第21回新潟県作業療法士会公開講座	(新潟県作業療法士会)
11/9	三条市	第10回三条市民福祉大会	(三条市社会福祉協議会)
11/10	長岡市	第1回新潟県高等学校ボランティア大会	(新潟県高等学校文化連盟)
11/15	上越市	平成26年度上越市社会福祉大会	(上越市社会福祉協議会)
11/15~23	新潟市	新潟ふれ愛プラザ障害者週間イベント2014ふれ愛の集い (2014ふれ愛の集い実行委員会)	
11/24	新潟市	第8回東日本大震災チャリティイベント「百花繚乱2014冬」	(新潟恩返しプロジェクト)
12/6	新潟市	天井の音楽～君は愛されるため生まれた～	(日比野音楽研究所)
12/6	新発田市	動く喜び、動ける幸せ支援セミナー 新発田	(新潟大学整形外科教室ほか)
12/20	新潟市	孤独死・孤立化する若者への支援を考える	(新潟地域福祉実践研究会)

1/11	新潟市	第1回にいがた終活大学	(にいがた終活大学実行委員会)
2/14	新潟市	地域密着サービスってどんなところ?～認知症高齢者が安心して利用できるグループホームや小規模多機能型居宅介護を考える～	(新潟県社会福祉士会)
2/21	新潟市	平成26年医療社会事業担当者研修会	(新潟県医療ソーシャルワーカー協会)
2/28	長岡市	老年問題セミナー	(医療と福祉総合研究会)
3/1	上越市	第25回耳の日フェスティバル	(新潟県聴覚障害者協会)

(2) 全国・関東ブロック研修会等の本県での開催に対する支援・協力

- ① 平成26年度全国社会就労センター総合研究大会（新潟大会）
 - ▶ 7月9日～11日 新潟市（参加者数416名） 表彰、基調報告、分科会、講義等
- ② 第21回日本介護福祉士会関東・甲信越ブロック研修会in新潟
 - ▶ 10月3日～4日 新潟市（参加者数424名） 基調講演、分科会、記念講演
- ③ 第10回社会福祉士育成推進大会
 - ▶12月6日 長岡市（参加者数106名） シンポジウム、分科会

(3) 福祉団体業務の受託等による支援・協力

福祉団体の事務局業務を受託し、運営・活動の充実に支援・協力した。

- ① 新潟県社会福祉法人経営者協議会
- ② 新潟県社会福祉法人経営者協議会青年部会
- ③ 新潟県内社協職員連絡会
- ④ 新潟県ボランティア連絡協議会
- ⑤ 新潟県災害ボランティア調整会議
- ⑥ 新潟県社会就労センター連絡協議会

◎(4) 災害福祉広域支援ネットワーク事業

平成26年3月、県内10団体（H27.4月現在：13団体）が横断的に連携した「新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」が発足し、災害時に備えた全県一体の支援体制の構築、構成団体の専門性を活かした広域的な支援活動を展開する仕組みの整備に向け活動を開始した。

① 災害福祉広域支援ネットワーク協議会幹事会の開催

期日・場所等	内 容
第1回4月10日	[検討・協議事項] ・協議会設立後の入会状況 ・視察結果報告 ・災害における福祉団体等との協定締結状況 ・地域懇談会の進め方 ・協議会員団体における災害対応の体制整備の促進 ほか ＊5回の幹事会のほか、正副代表幹事会を3回開催
第2回6月4日	
第3回8月11日	
第4回10月8日	
第5回12月17日	
新潟市	

② 災害福祉広域支援ネットワーク団体等県外視察研修の実施

期日・場所等	内 容
7月31日～ 8月1日 静岡市、沼津市 (参加者5名)	<p>[視察先]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1日 社会福祉法人春風会特別養護老人ホーム「あしたかホーム」(沼津市) 静岡県老人福祉施設協議会、静岡県災害福祉広域支援ネットワーク会議 ・第2日 静岡県総合福祉会館(静岡市) 静岡県社会福祉士会、静岡県介護福祉士会 <p>[視察メンバー]</p> <ul style="list-style-type: none"> 新潟県社会福祉法人経営者協議会 青年部会幹事 西川 伸作 新潟県老人福祉施設協議会 災害担当理事 中島 吉治 新潟県社会福祉士会 災害担当 三浦 修 新潟県介護福祉士会 組織委員長 出羽 秀輝 新潟県社会福祉協議会 福祉人材課課長代理 笹川 直樹

③ 新潟県民福祉大会研究集会の開催

期日・場所等	内 容
10月21日 妙高市	<p>[シンポジウム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時における要配慮者支援について考える ～災害対応を効果的に進めるための体制づくりについて～ <p>[コーディネーター]</p> <p>新潟医療福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授 松山 茂樹</p> <p>[シンポジスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> 新潟県福祉保健部 高齢福祉保健課 課長 堀井 淳一 新潟県老人福祉施設協議会 災害担当理事 中里 雅之 株式会社富士通総研 第一コンサルティング 公共事業部 チーフシニアコンサルタント 名取 直美 新潟県社会福祉法人経営者協議会 青年部会幹事 西川 伸作

④ 災害福祉広域支援ネットワークフォーラムの開催

期日・場所等	内 容
3月23日 長岡市	<p>[基調講演]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時要配慮者支援の基礎と実際 ～災害福祉広域支援について考える～ <p>講師：社会福祉法人東北福祉会 法人本部次長 野田 毅</p> <p>[シンポジウム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時における要配慮者支援 ～災害対応を効果的に進めるための体制づくりについて～ <p>[コーディネーター]</p> <p>新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会 代表幹事 西川伸作</p>

	[シンポジスト] (活動発表)	
	新潟県福祉保健部福祉保健課 副参事・係長	柳澤 義治
	新潟県老人福祉施設協議会 事務局長	長谷川 隆
	新潟県社会福祉士会 副会長	星井 勝博
	新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会 副代表幹事	出羽 秀輝

⑤ 地域懇談会の開催

期日・場所等	内 容
12月16日 新発田市 2月12日 燕 市	<p>[下越(新発田)会場]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新発田市地域防災計画」の説明 ・福祉施設の活動報告 ほか <p>[県央(燕)会場]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新潟県・市町村地域防災計画」の説明 ・地域防災計画における県、市町村及び福祉団体の役割・責務についての認識の共有 ・福祉団体の支援項目の検討(要配慮者の受入・移送・職員の派遣等) ・「福祉避難所」の協定等の締結に向けて ほか

◎(5) 関係団体との協定締結

①新潟医療福祉大学との包括連携協定の締結

本会と新潟医療福祉大学(新潟市北区)は、双方が所有する人的・物的な資源を活用し、保健・医療・福祉・スポーツ等の分野において連携・協力することで、福祉社会の発展及び地域創生に寄与するとともに、地域社会に貢献できる人材の育成に資することを目的に、包括連携協定を締結した。

②日本青年会議所新潟ブロック協議会との災害時相互協力協定の締結

災害時におけるボランティア活動等被災者支援活動を効果的に進めることを目的に、公益社団法人日本青年会議所北陸信越地区新潟ブロック協議会と災害時相互協力協定を締結した。

◎(6) 調査事業

- ・調査名：社会福祉法人における地域貢献活動に関する実態把握調査
- ・実施主体：新潟県社会福祉協議会及び新潟県社会福祉法人経営者協議会
- ・調査目的：社会福祉法人の地域における公益的な活動について現状を把握するとともに、今後の方向性及び実践への方策を検討するため
- ・調査対象：新潟県内の社会福祉法人(420か所)
- ・回収数：243法人(回答率：57.9%)
- ・調査結果の概要
 - (1)現在の取組み：ボランティア・福祉人材の育成(82%)、地域交流事業の実施(55%)
 - (2)検討中又は関心の高い取組み：災害に備えた取組み(15%)、法人後見等の権利擁護(13%)
 - (3)公益的な活動を行うメリット：法人のイメージアップにつながる(77%)、ネットワークの拡大(72%)

基本方針Ⅲ 一人ひとりの自立生活づくり

推進目標 1 高齢者の社会参加の促進

1 明るい長寿社会づくり推進事業

(1) 長寿社会振興センター運営委員会

期日・場所	協 議 事 項
2月20日 新潟市	・議長の選任について ・平成26年度事業実施状況について ・平成27年度事業計画について

(2) 第19回にいがたねんりんピック

高齢者のスポーツ大会を通じ、ふれあいと活力ある長寿社会の実現をめざすことを目的に開催した。

期日・場所	内 容
5月25日 ～6月22日 新発田市	[スポーツ交流大会総合開会式・卓球競技開始式] 5月25日 ・開会式会場にて福祉施設手作り製品の販売 [スポーツ交流大会] ・5月25日～6月22日開催、競技12種目、1,056名参加 ・全国健康福祉祭への派遣選手選考

(3) 全国健康福祉祭（ねんりんピック）

全国健康福祉祭（ねんりんピック）に選手を派遣した。

期日・場所等	内 容
10月4日～7日 栃木県 (111名派遣)	[県選手団結団式] 10月3日 新潟市 [参加種目] スポーツ交流大会（10種目）、ふれあいスポーツ交流大会（3種目）、 文化交流大会（2種目） [主な成績] ソフトバレーボール 1位、弓道及びペタンク ベスト8

(4) 高齢者芸術文化祭（福祉・介護・健康フェア2014同時開催）

高齢者の健康及び芸術文化活動を通じて、地域間、世代間のふれあいと交流を図り、高齢者の社会参加や生きがいつくりの推進を目的に開催した。

期日・場所等	内 容
11月3日 新潟市 (入場者13,000名)	[交流ブース] おもちゃ病院（おもちゃドクター）によるおもちゃ修理、木工教室 [福祉施設利用者等による作品展]

	絵画、書、写真、手芸等、出品作品数 200点 【講演】 「綾戸智恵のめっちゃええ話これは聞かなあかん！～母の介護をとおしてみえたもの～」 ジャズシンガー 綾戸 智恵
--	--

(5) 高齢者大学の開講

高齢者に学習の機会を提供することと併せて、仲間づくりや地域活動の担い手を養成することを目的に、新潟市、長岡市、上越市において高齢者大学を開講した。

① 高齢者大学運営委員会

期日・場所	協 議 事 項
第1回 10月10日 新潟市	・平成27年度新潟県高齢者大学の運営について
第2回 12月22日 新潟市	【報告事項】 ・平成26年度新潟県高齢者大学の運営状況について 【協議事項】 ・平成27年度新潟県高齢者大学の運営について

② 講座の開設

▶ 講師 約70名（医師、弁護士、大学教授、介護福祉士、NPO関係者等）

期日・修了者等	内 容（講座数）
基礎課程1年次 5月～11月 (15日間17講座) (修了者190名)	社会・生活(5)、健康(4)、福祉(2)、地域活動(5)、 特別講座(1)
応用課程2年次 4月～10月 (16日間16講座) (修了者159名)	社会・生活(6)、健康(3)、福祉(1)、地域活動(5)、 特別講座(1)
ボランティア体験コース（傾聴） 8月 (3日間) (修了者33名)	・よい聞き手になるために「傾聴の意味と意義」 ・信頼関係の形成 ・認知症高齢者への関わり方 ・傾聴のスキルを使っての対話訓練、実践に向けて ・ボランティア活動「地域での見守り活動」
パソコン講座 6月 (5日間2コース) (修了者47名)	【Aコース】 ワード、エクセルの基本操作、ハガキ印刷、住所録の作成、 簡単な関数機能 【Bコース】 インターネットの使い方、パソコンのセキュリティ、 ネットショッ ピング、スマートフォンやタブレット端末の活用

暮らしと環境（食育） コース 7月～8月 （4日間） （修了者26名）	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「地球の食を考える 郷土色から見る地産地消」 ・講義「環境から見た農業の取り組み」 ・講義「フードバンクの取り組み」 ・永塚農園見学 ・調理実習
地域活動体験（施設 見学）コース 8月～9月 （4日間） （修了者21名）	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム恵風園見学 ・新潟市内放課後児童クラブ見学 ・有料老人ホーム見学 ・各グループで地域活動を企画し活動したもの、あるいは研究したものを発表
地域再発見（まち歩 き）コース 9月 （5日間） （修了者28名）	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「まち歩きの意義と魅力」 ・ガイドと一緒にまち歩き（上古町） ・グループに分かれまち探検 ・まちの宝物マップ作成 ・まち歩きの企画、発表、評価

③ 高齢者大学運営協力員の委嘱と協力員会議

大学の円滑な運営と高齢者による大学運営の自主性を高めるため、高齢者大学の修了生の中から「大学運営協力員」を委嘱した。

- ▶ 運営協力員の委嘱者数16名
- ▶ 運営協力員会議の開催（2回開催11月27日、2月25日）

(6) 社会活動実践者等交流・仲間づくりの促進

高齢者大学修了生が一堂に集い、交流を深めるとともに地域活動のリーダーとして仲間づくりや社会活動への参加促進と活動の広がりを図ることを目的に同窓会事業を行った。

① 同窓会事業（中越地区研修旅行）

期日・場所等	内 容
10月21日～22日 中越地区 (参加者26名)	講演会「防災と地域力」 長岡市政策監兼原子力防災監 金子 淳一 交流会「卒業生の活動発表による交流」 平成24年度上越修了生 長谷川 達栄 平成22年度新潟B修了生 高見 清也 平成22年度長岡修了生 貝沼 正義 平成23年度新潟B修了生 福岡 貞夫 中越地区の歴史や文化を学ぶ 雲洞庵、西福寺、小千谷震災ミュージアムそなえ館、トミカワイト美術館、松籟閣、朝日酒造、アール長岡

② 同窓会事業企画会議

同窓会事業の円滑な運営と高齢者による事業の自主性を高めるため、高齢者大学の修了生の中から「同窓会事業企画員」を委嘱した。

- ▶ 企画員の委嘱者数6名
- ▶ 企画会議の開催（12回開催 4月～3月）

③ 同窓会事業地区連絡会代表者会議

同窓会事業の円滑な運営を図るため、上・中・下越3地区において意見交換の場とする連絡会を設置し、各地区のクラス代表による連絡会議を開催した。

- ▶ 地区連絡会議の開催

地区連絡会代表者：平成20年度～25年度のクラス代表者

地区会議の開催：各地区3～4回開催（5月～9月）

推進目標2 高齢者への生活支援の充実

1 高齢者総合相談センター事業

(1) 相談事業

高齢者とその家族等が抱える生活全般の心配ごとや悩みごと相談にあたった。

① 相談の概要

一般相談開設日数	専門相談開設日数	相談者数	相談延べ件数
243日 (月平均20.3)	110日 (月平均9.2日)	1,755人 (月平均147人)	1,879件 (月平均156.5件)

② 相談者数・相談種別・相談方法

相談者人数				相談種別		相談方法		
男性	女性	不詳	計	一般	専門	電話	来所	手紙
491人	1,264人	0人	1,755人	1,440人	315人	1,439人	311人	5人
28.0%	72.0%	0.0%	100.0%	82.1%	17.9%	82.0%	17.7%	0.3%

③ 相談内容

家族・家庭	法律	経済・生活	福祉サービス	生きがいづくり	保健・医療	合計
534件	665件	393件	163件	7件	117件	1,879件
28.4%	35.4%	20.9%	8.7%	0.4%	6.2%	100.0%

④ 専門家が受けた相談件数

法律	不動産利活用	税金	福祉用具・住宅	合計
232件	86件	11件	1件	330件
70.3%	26.1%	3.3%	0.3%	100.0%

⑤ 他機関への紹介や委任件数

行政機関	相談機関	施設等	その他	合計
147件	58件	7件	42件	254件
57.9%	22.8%	2.8%	16.5%	100.0%

⑥ 巡回専門相談

県内各地に専門家を派遣し、相談に対応した。

▶ 派遣実績

法律相談：実施延べ市町村11か所、相談者数32人。延べ件数36件。

不動産利活用相談：実施延べ市町村13か所、相談者数38人。延べ件数38件。

(2) 相談担当者の資質向上

① 高齢福祉相談担当職員等研修会

市町村、社会福祉協議会、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等の職員を対象に研修会を開催し、相談員の資質の向上を図った。(3会場)

期日・場所等	内 容
9月24日 新潟市 (参加者134名)	[相談対応スキル向上研修] 講義「相談対応の在り方を確認する」 演習 グループディスカッション「現状の問題点」 講義「不可欠なコミュニケーションを磨く」 演習 グループディスカッション「今後への課題」 講義「さらなるご利用者様の満足を目指して」 株式会社話し方教育センター講師 浅川 由美子
10月16日 長岡市 (参加者72名)	[高齢者に寄り添う相談援助職の役割について] 講義「実践を通して高齢者に寄り添う相談援助職の役割について考える」 演習 グループワーク「相手を知る事の大切さと難しさ」 演習 グループワーク「事例で相談援助職を考える」 振り返り グループ発表 長岡市地域包括支援センターまきやま・みしま 相談員・社会福祉士 松浦 正子
11月5日 新潟市 (参加者157名)	[説明・説得力向上研修] 講義「社会生活と説明・説得」 講義「説明の心構えと手法」 演習「説明トレーニング」 講義「行動を促す説得の技法」 演習「説明トレーニング」 講義「説明・説得をさらに強化するには」 株式会社話し方教育センター 福祉事業部マネージャー 池田 統

(3) 相談業務情報の提供等

県社協広報誌やマスコミ等を通じ相談についての情報提供・広報

- ▶ 高齢者福祉総合情報誌「にいがたオアシス21」「福祉にいがた」に活動状況及び特集記事を掲載(年5回)
- ▶ 高齢者総合相談センターリーフレット(25,000部)、ポスター(500部)を作成
- ▶ 県内の相談機関の所在情報等を集約した冊子「相談のみちしるべ」を作成(2,000部)

推進目標3 障害者の社会参加の促進

1 福祉の店パレット新潟店運営事業

(1) 店舗販売等

福祉施設で作られた製品の展示・販売を行い、各種イベント等を通して広く県民とのふれあいの場として「福祉の店パレット」を運営し、障害者の就労や生きがい、社会参加の促進と県民に対する福祉への理解促進に努めた。

- ▶ 新潟ユニゾンプラザ内の常設店での販売実績【総売上額：12,030,109円】
- ▶ ホームページでのインターネット販売の実施

① 運営委員会

期日・場所	協議事項
2月27日 新潟市	・平成26年度売上状況について ・今後の販売促進について ・授産製品の品質管理について

(2) 周年祭

期日・場所	内容
11月4日 新潟市	・ナイスハートバザールの実施（福祉の店新潟店契約施設の商品販売） 参加施設 29施設、販売売上額 472,177円 ・各種イベントの実施 ガラポン抽選会、店舗紹介パンフレットの配布 ・抽選会参加人数（2施設以上からの購入者）545名 ・「福祉・介護・健康フェア2014」との併催実施

(3) 授産事業の活性化、自主製品の開発支援

① 授産事業活性化研修会

授産施設指導職員等を対象に、授産事業の活性化に向けた新たな製品の開発や品質の向上を目的に研修会を開催した。

期日・場所等	内容
12月16日～17日 新潟市 (参加者50名)	講義「食品表示法の概要と施設での対策について」 「景品表示法、家庭用品品質表示法、家庭用品規制法の改正について」 株式会社消費経済研究所 品質管理サポート部チーフディレクター 高田 かおり

(4) 障害者しごと体験事業

店舗販売を通じて障害者に就労体験の場を提供し、障害者の生きがいと社会参加を促進するとともに、県民の障害者福祉への理解促進に努めた。

期日・場所	内容
5月～1月 新潟市 (パレット新潟店)	・参加施設13施設、体験人数24名 ・業務内容 店内での商品の整理や陳列、お客様への声かけ、商品の袋詰め、納品

	受入の手伝い等販売員の補助業務 ・業務時間 月～金曜日(原則5日間連続)、10時から13時までの3時間
--	---

推進目標 4 生活安定への支援

1 生活福祉資金貸付制度等の適正運用

(1) 生活福祉資金等貸付事業

低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活をおくれるよう支援した。

- ▶ 生活福祉資金貸付審査等運営委員会：年11回開催、福祉資金(福祉費)24件を貸付決定
- ▶ 会長専決：総合支援資金10件、福祉資金255件(福祉費49件、緊急小口資金206件)、教育支援資金74件の合計339件を随時貸付決定
- ▶ 償還実績：償還額 164,230千円(当年度償還期限内償還率 68.34%)

① 総合支援資金、福祉資金、教育支援資金の貸付

【申込・貸付決定実績】

	申 込		貸 付	
	件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)
総合支援資金(※)	13	4,916,967	10	2,679,967
生活支援費	11	4,419,000	8	2,182,000
住宅入居費	0	0	0	0
一時生活再建費	2	497,967	2	497,967
福祉資金	281	37,174,000	279	36,953,000
福 祉 費	73	20,633,000	73	20,617,000
緊急小口資金	208	16,541,000	206	16,336,000
教育支援資金	74	29,352,643	74	28,412,643
教育支援費	49	23,877,643	49	22,937,643
就学支度費	25	5,475,000	25	5,475,000
合 計	368	71,443,610	363	68,045,610

【総合支援資金変更貸付決定実績】※前記「総合支援資金」とは別掲

貸付期間や金額等の変更申請(住宅手当の終了による増額、就職した場合の辞退等)により、貸付金の増額または減額決定を行った。

	件 数	金 額 (円)
増 額	2	124,000
減 額	2	162,000

② 不動産担保型生活資金の貸付

一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、当該不動産を担保として生活資金の貸付を行った。

- ▶ 不動産担保型生活資金審査委員会：年2回開催
 (③要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付審査を含む)

【申込・貸付決定実績】

	件数	金額(円)
申込	0	0
貸付	0	0

③ 要保護世帯向け不動産担保型生活資金の貸付

一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居を所有し、又は住み続けることを希望する要保護の高齢者世帯に対し、当該不動産を担保として生活資金の貸付を行った。

【申込・貸付決定実績】

	件数	金額(円)
申込	4	36,800,000
貸付	4	36,800,000

④ 臨時特例つなぎ資金の貸付

離職者を支援するための公的給付制度又は公的貸付制度を申請している住居のない離職者に対し、当該給付金又は貸付金の交付を受けるまでの当面の生活費の貸付を行った。

【申込・貸付決定実績】

	件数	金額(円)
申込	1	100,000
貸付	1	100,000

⑤ 高校生の授業料等滞納に係る生活福祉資金(教育支援資金)の貸付

高等学校の授業料等をやむをえない事情により滞納した場合、滞納時まで遡及して当該滞納額(現在高)の貸付を行った。

【申込・貸付決定実績】※(1)表に含む(再掲)

	件数	金額(円)
申込	8	1,375,643
貸付	8	1,375,643

(2) 生活福祉資金等貸付・債権管理

- ① 初期滞納先に重点を置いた償還指導の実施
- ② 長期滞納先の個別管理と不良債権の削減

ア 当年度償還債権の償還率

25年度(%)	26年度(%)	対前年比(%)
65.55	68.34	+2.79

イ 初期滞納先の償還指導

償還指導先	滞納解消先	解消率(%)
389	223	57.32

ウ 市区町村社協巡回指導

実施期間	実施市区町村	指導対象人員	指導対象件数
5月～12月	34	109	672

エ 不良債権の削減

削減額(千円)
35,715

(3) 生活福祉資金貸付事務担当者研修会

期日・場所等	内 容
第1回 7月18日 新潟市 (参加者55名)	事務説明1「生活福祉資金の貸付について」 <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金の概要 ・各資金の要点及び留意点 事務説明「生活福祉資金の債権管理について」 <ul style="list-style-type: none"> ・償還状況と償還率について ・債権管理の方法について ・行方不明先の調査と住民票請求について 演習1「実務 相談から貸付まで(グループ討議)」 <ul style="list-style-type: none"> ・過去の事例から学ぶ 演習2「情報交換・意見交換(グループ討議)」 <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村社協における生活福祉資金の貸付相談にあたって 新潟県社会福祉協議会生活支援課
第2回 2月18日 新潟市 (参加者54名)	基調説明「生活困窮者自立支援法について」 <ul style="list-style-type: none"> －生活困窮者支援と生活福祉資金貸付制度－ 新潟県福祉保健部福祉保健課保護係主任 小林 誠 事務説明1「生活福祉資金貸付業務における最近の課題等」 事務説明2「生活福祉資金貸の債権管理について」 <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金貸付と自立支援、償還率との関係について ・償還免除適格要件と事例研究 ・債権管理マニュアルの改訂、訂正 演習1「実務 相談から貸付まで(グループ討議)」 <ul style="list-style-type: none"> ・過去の事例から学ぶ 演習2「情報交換・意見交換(グループ討議)」 <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村社協における生活福祉資金の貸付相談にあたって 新潟県社会福祉協議会生活支援課

(4) 生活福祉資金相談等体制整備事業

① 生活福祉資金相談員配置事業

新潟県緊急雇用創出事業臨時特例基金（住まい対策拡充等支援事業）の活用により、求職活動を行う生活困窮者等に対して、生活、就労、住宅等に係る必要な支援を行うため、生活福祉資金相談体制整備事業として県社協及び市町村社協に相談員を配置した。

- ▶ 配置市町社協：33カ所
- ▶ 配置人数：43名（県社協3名、新潟市区社協12名、22市町社協28名）

② 生活福祉資金活動費の交付

民生委員実費弁償費、市町村社会福祉協議会貸付事務費を交付した。

(5) 新潟県中越沖地震に係る生活福祉資金貸付金利子補給事業への協力

新潟県中越沖地震における生活福祉資金借受者の負担軽減を図るため、公益財団法人新潟県中越沖地震復興基金が実施する「生活福祉資金貸付金利子補給事業」の業務協力を行った。

【貸付金利子補給事業の概要】

- ▶ 対象資金：福祉資金(住宅)、災害援護資金
- ▶ 補給期間：平成19年7月16日～平成29年7月31日

【利子補給実施状況】

	申 請		決 定	
	件 数	金 額 (円)	件 数	金 額 (円)
福祉資金(住宅)	1	37,920	1	37,920
災害援護資金	2	33,550	2	33,550
合 計	3	71,470	3	71,470

(6) 生活福祉資金制度の周知等

① 生活福祉資金制度の周知

- ▶ 新潟県及び新潟県社会福祉協議会ホームページへの掲載
- ▶ 新潟県教育庁高等学校教育課「奨学金ガイド」（3月発行）への掲載
- ▶ 労働局職業安定部職業対策課「第二のセーフティネット支援ガイド」、「再就職のためのステップアップガイド」への掲載
- ▶ 新潟県多重債務者対策連絡会議「多重債務者支援機関一覧」への掲載
- ▶ 福祉にいがた「9月号」への掲載

② 関係機関・団体との連携協力

- ▶ 新潟県生活福祉・就労支援協議会（6月5日、新潟市）
- ▶ 住居・生活困窮者等就労支援業務担当者研修会（5月28日、新潟市）
- ▶ 新潟県多重債務者対策連絡会議（7月14日、新潟市）

2 生活困窮者自立促進支援モデル事業

- ▶ 事業内容 生活困窮者への自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計相談支援事業の実施（県からの受託事業）
- ▶ 契約期間 平成26年6月16日～平成27年3月31日
- ▶ 契約金額 17,377,000円
- ▶ 事業実績 相談者数 64名、相談・支援者数 37名、支援件数 1,143件

基本方針Ⅳ 利用者主体の福祉サービスづくり

推進目標 1 福祉サービス利用者の権利擁護の推進

1 日常生活自立支援事業

(1) 事業概要

相談・利用者数が増加している中、関係者との連携の下、7基幹的社協に専門員を配置し、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者に対する福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等による支援を行った。

① 問い合わせ件数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
件数	74件	21件	21件	53件	169件
構成比	44%	12%	12%	32%	100%

② 相談件数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
件数	7,577件	5,315件	5,776件	119件	18,787件
構成比	40%	28%	31%	1%	100%

③ 契約締結件数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合計
件数	73件	28件	29件	130件

④ 解約件数

対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合計
件数	81件	17件	28件	126件

⑤ 実利用者数

基幹的社協	長岡市	上越市	三条市	新発田市	魚沼市	佐渡市	十日町市	合計
人数	238名	145名	78名	62名	110名	61名	60名	754名

(2) 契約締結審査会

期日・場所	協議事項
第1回 7月1日 新潟市	案件計：159件 ・審議案件：未成年との契約1件、発達障害者への支援（助言）1件 ・審査案件：解約46件・変更契約18件・支援計画の変更93件
第2回 10月28日 新潟市	案件計：128件 ・審議案件：未成年との契約1件、未成年後見人との契約1件 ・審査案件：解約36件・変更契約14件・支援計画の変更76件
第3回 2月12日 新潟市	案件計：176件 ・審議案件：未成年との契約1件、未成年後見人との契約1件 ・審査案件：解約39件・変更契約14件・支援計画の変更121件

(3) 基幹的社協及び専門員との連携、支援

① 基幹的社協連絡会議

基幹的社協との連携と協力、業務指導体制を緊密にし、本事業の円滑な実施と推進体制の強化を目的に開催した。

期日・場所	協 議 事 項
6月12日 新潟市	・平成26年度事業計画について ・全社協主催 日常生活自立支援事業所長会議について（報告） ・今後の事業推進について（意見交換）

② 基幹的社協巡回訪問

基幹的社協における本事業の適正な実施を図るため、巡回訪問を実施し、課題等について意見交換を行った。

期日・場所	内 容
5月13日 佐渡市 10月24日 十日町市 11月7日 新発田市 11月12日 三条市 11月18日 魚沼市 11月19日 長岡市 11月25日 上越市	日常生活自立支援事業の実施状況について

③ 専門員ケース検討会議

対応困難ケース等に対する支援方策について共通認識を持つとともに、専門員の資質向上を目的に開催した。

期日・場所等	協 議 事 項
第1回 6月12日 新潟市	・事例検討 ・今後の事例検討の進め方について
第2回 9月30日 新潟市	・講義「日常生活自立支援事業の専門員に求められる専門性を考える」 講師：新潟県精神保健福祉士協会 副会長 那須野 雅 ・事例検討（スーパーバイザー：同上）
第3回 2月12日 新潟市	・事例検討 ・平成27年度の事例検討について ・預かり物件の取り扱いについて

(4) 生活支援員の資質向上、支援

① 生活支援員研修会

生活支援員を対象に、支援活動に必要な知識や援助技術の習得と資質の向上を目的として開催した。

期日・場所（参加者）	研修名・講師
5月13日 佐渡市(40名)	「知的障害の理解と支援」 講師：新潟中央短期大学学長 石本 勝見
10月14日 新潟市 (三条市社協37名、新発田市社協41名)	
11月18日 魚沼市 (魚沼市社協56名、十日町市社協27名)	
11月25日 上越市(58名)	
11月27日 長岡市(51名)	

(5) 関係機関との連携、啓発活動の実施

① 関係機関連絡会議

事業理解の促進と協力体制の確立、情報交換のため、関係機関・団体の実務者による連絡会議を開催した。

期日・場所等	協 議 事 項
11月19日 長岡市 (出席者数23名)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業の実施状況について（報告） ・関係機関からの日常生活自立支援事業に関する評価、期待する点 ・今後のよりよい事業推進に向けた社協及び関係機関間での意見交換等

② 日常生活自立支援事業担当者研修会

事業の円滑な推進を図ることを目的に、基幹的社協および地元社協の事業担当者を対象に開催した。

期日・場所等	内 容
2月20日 新潟市 (参加者74名)	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演「地域における権利擁護のあり方～社協等が法人後見に取り組む意義～」 講師：新潟大学法学部教授 上山 泰 ・実践報告「社協における法人後見＋市民後見人養成への取り組み」 報告者：柏崎市社会福祉協議会 生活支援係長 大塚 真光子 佐渡市社会福祉協議会 生活支援係長 須藤 信宏 聞き手：新潟大学法学部教授 上山 泰
3月4日 新潟市 (参加者58名)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義1「成年後見制度の理念と概要」 講師：新潟県社会福祉士会 権利擁護センターぱあとなあ新潟事務局長 大鳥 恵美 ・講義2「制度利用対象者への支援に関する理解」 講師：同上 ・講義3「成年後見制度と日常生活自立支援事業の関係性・連携」 講師：新潟県社会福祉協議会 企画広報課 主査 目崎 幹生
3月5日 新潟市 (参加者57名)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義4「後見活動に必要な法律知識と財産管理の実務」 講師：新潟みなと法律事務所 弁護士 佐藤 克哉 ・グループワーク「後見活動の実際」 講師：同上

2 成年後見制度普及促進事業

◎(1) 成年後見制度市町村長申立普及促進事業

① 成年後見制度市町村長申立マニュアルの作成

500部作成（監修／弁護士 平 哲也）

② 成年後見制度市町村長申立推進研修会

期日・場所等	内 容
中越会場 11月21日 長岡市 (参加者46名)	基調説明「県内における成年後見制度の現状」 新潟県社会福祉協議会企画広報課 主事 寺口 祐司 基調講演「成年後見制度の概要と市町村長申立の意義」 金子法律事務所 弁護士 金子 直樹（中越会場） 上越中央法律事務所 弁護士 田中 淳哉（上越会場） 藤田善六法律事務所 弁護士 原田 宏一（下越会場）
上越会場 12月3日 上越市 (参加者30名)	実践報告「市町村長申立の実践」 報告者 長岡市福祉保健部長寿はつらつ課 権利擁護相談員 塚田 ひさ子
下越会場 12月16日 新潟市 (参加者85名)	阿賀町健康福祉課 主任 江川 里加 聞き手 金子法律事務所 弁護士 金子 直樹（中越会場） 上越中央法律事務所 弁護士 田中 淳哉（上越会場） 藤田善六法律事務所 弁護士 原田 宏一（下越会場）

◎(2) 成年後見制度法人後見支援事業

① 成年後見制度法人後見業務マニュアルの作成

100部作成（監修／新潟大学法学部 教授 上山 泰）

② 成年後見制度法人後見推進研修会

期日・場所等	内 容
2月20日 新潟市 (参加者74名)	基調講演「地域における権利擁護のあり方 ～社協等が法人後見に取り組む意義～」 新潟大学法学部 教授 上山 泰 実践報告「社協における法人後見＋市民後見人養成への取り組み」 報告者 柏崎市社会福祉協議会 生活支援係長 大塚 真光子 佐渡市社会福祉協議会 生活支援係長 須藤 信宏 聞き手 新潟大学法学部 教授 上山 泰

◎(3) 法人後見専門員スキルアップ研修会

期日・場所等	内 容
3月4,5日 新潟市 (参加者延べ 115名)	講 義「成年後見制度の理念と概要」 公益社団法人新潟県社会福祉士会 権利擁護センターばあとなあ新潟 事務局長 大鳥 恵美 講 義「制度利用対象者への支援に関する理解」 公益社団法人新潟県社会福祉士会 権利擁護センターばあとなあ新潟 事務局長 大鳥 恵美 講 義「成年後見制度と日常生活自立支援事業の関係性・連携」 新潟県社会福祉協議会 企画広報課 主査 目崎 幹生 講 義「後見活動に必要な法律知識と財産管理の実務」 新潟みなと法律事務所 弁護士 佐藤 克哉 グループワーク「後見活動の実際」 新潟みなと法律事務所 弁護士 佐藤 克哉

(4) 成年後見制度推進セミナー

① 成年後見セミナーin阿賀

[主催：新潟県社会福祉協議会、阿賀町、阿賀町社会福祉協議会]

期日・場所等	内 容
11月11日 阿賀町 (参加者78名)	基調講演「成年後見制度とは ～誰のためのどんな制度?～」 新潟みなと法律事務所 弁護士 石山 正彦 行政報告「阿賀町における成年後見制度に関する実態把握調査の結果について」 阿賀町健康福祉課 主任 江川 里加 シンポジウム「知ろう!活かそう!成年後見制度 ～阿賀町地域のために～」 パネリスト 聖籠町地域包括支援センター 社会福祉士 宮下 美知子 上越市社会福祉協議会 相談支援専門員 山本 拓郎 阿賀町地域包括支援センター 保健師 飯岡 裕子 コーディネーター 新潟みなと法律事務所 弁護士 佐藤 克哉

② 成年後見セミナーin新発田

[共催：新潟県社会福祉協議会、新発田市、新発田市社会福祉協議会、新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部]

期日・場所等	内 容
11月26日 新発田市 (参加者72名)	講義「成年後見制度の概要」 新発田ひまわり基金法律事務所 弁護士 吉村 一洋 シンポジウム「新発田市における成年後見制度利用の現状について」 シンポジスト 新発田市高齢福祉課介護指導係 主事 速水 結 こころの相談支援ウィング 相談支援専門員 齋藤 綾

	<p>新発田市社会福祉協議会地域福祉課 主事 岩名 浩伸 コーディネーター</p> <p>新発田地域振興局健康福祉環境部 地域福祉課長 上村 正朗</p> <p>シンポジウム「後見業務の課題と展望」</p> <p>シンポジスト</p> <p>波多野雅造司法書士事務所 代表 波多野 雅造</p> <p>新潟県社会福祉士会ばあとなあ新潟 会員 五十嵐 好美</p> <p>新潟市社会福祉協議会福祉相談支援課 課長 池田 伸一 コーディネーター</p> <p>新発田ひまわり基金法律事務所 弁護士 吉村 一洋</p> <p>オブザーバー</p> <p>新潟家庭裁判所新発田支部 主任家庭裁判所調査官 本間 智樹</p>
--	---

③ 成年後見セミナーin糸魚川

[主催：新潟県社会福祉協議会、糸魚川市、糸魚川市社会福祉協議会]

期日・場所等	内 容
2月8日 糸魚川市 (参加者200名)	<p>講義「成年後見制度とは？ ～制度の概要、現状と課題～」</p> <p>糸魚川きぼう法律事務所 弁護士 田村 剛志</p> <p>糸魚川きぼう法律事務所 弁護士 小出 薫</p> <p>新潟県社会福祉協議会企画広報課 主事 寺口 祐司</p> <p>パネルディスカッション「糸魚川市における権利擁護体制の構築に向けて」</p> <p>パネリスト</p> <p>認知症の人と家族の会 新潟県支部代表 金子 裕美子</p> <p>佐渡市社会福祉協議会 生活支援係長 須藤 信宏</p> <p>糸魚川市福祉事務所 社会福祉士 加藤 雅志</p> <p>オブザーバー</p> <p>糸魚川きぼう法律事務所 弁護士 田村 剛志</p> <p>糸魚川きぼう法律事務所 弁護士 小出 薫</p> <p>司会</p> <p>お笑いタレント 横澤 夏子 (吉本興業所属)</p> <p>お笑いコンビ バックスクリーン (吉本興業所属)</p>

(5) 法人後見実施社協等による意見交換会

期日・場所等	内 容
7月10日 新潟市 (参加者15名)	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県社協事業（平成26年度成年後見制度普及促進事業）について ・意見交換（協議題数：7）

◎(6) 成年後見制度に係る当事者団体との意見交換会

期日・場所等	内 容
7月15日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人の具体的な業務 ・成年後見制度の現状と課題

(参加6名)	・先進事例の紹介 ・参加者による意見交換
--------	-------------------------

(7) 成年後見制度普及啓発パンフレットの作成

▶ 平成27年1月 3,000部

(8) 各地域で開催される各種委員会・検討委員会等への参画・支援

▶ 成年後見制度の取組推進にかかるプロジェクト・検討会等に11市町村、57回参加

市町村	派遣日
長岡市	7/17
新発田市	4/4, 4/22, 5/23, 5/26, 6/27, 7/29, 8/26, 9/19, 11/14, 11/26, 12/22, 2/23
村上市	12/25, 1/30, 2/16, 3/20
燕市	6/19, 12/11, 3/19
糸魚川市	7/23, 8/28, 10/31, 1/22, 1/30, 2/8, 2/17, 3/27
五泉市	12/2, 12/9, 1/13, 2/19, 3/26
阿賀野市	10/15, 11/20, 1/16, 2/27,
佐渡市	7/31
魚沼市	6/9, 6/30, 9/8, 10/17, 3/25
聖籠町	12/19, 1/9, 2/16, 3/17
阿賀町	4/28, 5/21, 7/7, 8/7, 9/3, 9/30, 10/8, 10/28, 11/11, 2/26,

推進目標2 福祉サービス利用者の苦情解決支援の充実

1 福祉サービス運営適正化委員会運営事業

日常生活自立支援事業の適正な運営の確保と福祉サービスに関する苦情の適切な解決を図るため「新潟県福祉サービス運営適正化委員会」業務を実施した。

(1) 福祉サービスに関する苦情等の受付・対応状況

① 受付実績

▶ 件数：69件（その他業務上の相談・照会等 107件の対応）

② 事業分野毎の苦情受付・対応状況

【申出人別受付件数】

区分	老人	障害	児童	その他	合計
利用者	6	17	0	6	29
家族	10	7	3	8	28
代理人	0	0	0	0	0
職員	5	1	1	1	8
その他	3	0	1	0	4
合計	24	25	5	15	69

【内容別受付件数】

区 分	老 人	障 害	児 童	その他	合 計
職員の接遇	7	15	3	4	29
サービスの質や量	1	1	0	0	2
利用料	3	0	0	1	4
説明・情報提供	2	3	0	4	9
被害・損害	3	0	0	2	5
権利侵害	4	3	1	0	8
その他	4	3	1	4	12
合 計	24	25	5	15	69

【対応結果件数】

区 分	老 人	障 害	児 童	その他	合 計
相談・助言	17	15	2	7	41
紹介・伝達	3	10	2	8	23
あっせん	0	0	0	0	0
通知	0	0	0	0	0
その他	4	0	0	0	4
継続中	0	0	0	0	0
意見・要望	0	0	1	0	1
合 計	24	25	5	15	69

(2) 新潟県福祉サービス運営適正化委員会

期日・場所	協 議 事 項
第1回 5月26日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会委員長及び長の職務代理者の選出について ・小委員会の構成について ・利用者援助事業調査小委員会委員長及び長の職務代理者の選出について ・苦情解決小委員会委員長及び長の職務代理者の選出について ・平成26年度日常生活自立支援事業実施計画について <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市日常生活自立支援センター事業実施計画について ・新潟県日常生活自立支援センター事業実施計画について ・平成26年度新潟県福祉サービス運営適正化委員会事業実施計画について
第2回 3月12日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市社会福祉協議会日常生活自立支援事業平成27年度事業実施計画について ・新潟県社会福祉協議会日常生活自立支援事業平成27年度事業実施計画について ・新潟県福祉サービス運営適正化委員会平成26年度事業実施状況及び平成27年度事業実施計画について

(3) 利用援助事業調査小委員会

期日・場所	協 議 事 項
第1回 5月26日 新潟市	・日常生活自立支援事業実施状況調査について
第2回 9月1日 新潟市	・日常生活自立支援事業実施状況調査について
第3回 11月27日 新潟市	・日常生活自立支援事業実施状況調査の結果について
第4回 3月12日 新潟市	・平成27年度日常生活自立支援事業実施状況調査の進め方について

(4) 苦情解決小委員会

期日・場所	協 議 事 項
第1回 5月26日 新潟市	・平成26年度苦情解決体制整備状況調査について ・苦情申出案件への対応について 16件
第2回 7月24日 新潟市	・平成25年度苦情解決体制整備状況調査について ・苦情申出案件の対応について 16件
第3回 9月1日 新潟市	・平成25年度苦情解決体制整備状況調査について ・苦情申出案件の対応について 4件
第4回 11月27日 新潟市	・苦情申出案件の対応について 24件
第5回 1月22日 新潟市	・苦情申出案件の対応について 5件
第6回 3月12日 新潟市	・苦情申出案件の対応について 6件

(5) 苦情解決の仕組みの普及・啓発

① 福祉サービス苦情解決体制整備状況調査

社会福祉施設、事業者における苦情解決体制の整備と苦情の円滑な解決の推進を図ることを目的に、苦情解決体制の設置状況及び対応状況等について県内15カ所の施設を訪問し、調査を実施した。

- ▶ 対象 老人福祉施設5カ所、障害者福祉施設5カ所、児童福祉施設5カ所
- ▶ 内容 苦情解決体制の整備状況及び取組状況、第三者委員の活動状況、苦情対応状況

② 広報紙等への掲載

- ▶ 県社協機関紙「福祉にいがた」に事業実施状況等に関する記事を掲載
- ▶ マスコミや行政等の広報紙における福祉サービス運営委員会案内の広報依頼・掲載
- ▶ 福祉事業者への福祉サービス苦情相談ポスターの配布
- ▶ 県社協ホームページにおいて苦情解決研修等を周知

③ 苦情解決ハンドブックの活用

事業所段階で必要な、苦情解決の取り組みや仕組みなどを掲載し、苦情解決制度の普及啓発を図った。
(新潟県社会福祉協議会ホームページにて配信)

④ 福祉サービスに関する苦情解決担当者研修会

期日・場所等	内 容
5月11日 長岡市 (参加者202名)	事業説明「県内における苦情解決の実施状況」 新潟県福祉サービス運営適正化委員会事務局 講義・演習「苦情受付者としてクレームとどう向き合うべきか」 株式会社ツクイ人材開発推進本部業務企画部係長 山郷 政史

⑤ 福祉サービスに関する苦情解決責任者研修会

期日・場所等	内 容
10月24日 新潟市 (参加者100名)	事業説明「県内における苦情解決の実施状況」 新潟県福祉サービス運営適正化委員会事務局 講義・演習「苦情解決責任者に必要なマネジメントとは」 株式会社ツクイ人材開発推進本部業務企画部係長 山郷 政史

(6) 日常生活自立支援事業実施状況調査

日常生活自立支援事業において取り扱う利用者の預かり物件の管理状況や日常的金銭管理の状況等を確認するため、新潟市社会福祉協議会及び基幹的社会福祉協議会への訪問調査を実施した。

基本方針Ⅴ 福祉を支える人づくり

推進目標 1 福祉従事者の確保・就労の促進と働きやすい職場づくりへの支援

1 福祉人材センター事業

(1) 運営委員会

期日・場所	協議事項
3月17日 新潟市	・平成26年度福祉人材センター事業実施状況 ・平成27年度福祉人材センター事業計画

(2) 福祉人材無料職業紹介所の運営

福祉施設等への就職を希望する求職登録者とその雇用条件に見合う求人登録福祉施設等に紹介・斡旋する就労支援を行うとともに、福祉・介護人材の確保に取り組んだ。

【求人、求職の登録・斡旋等の実績】

区分	取扱件数	内容
登録	求人 2,939人 (1,224施設) 求職 521人	[主な職種] 介護職、相談・支援員、看護職、ホームヘルパー 保育士、介護支援専門員、セラピスト
紹介・就職 (無料職業紹介)	紹介 165人 採用 85人	・システム登録(紹介51人、採用31人) ・就職フェア(紹介114人、採用54人) ・就職者の職種 介護職員60、相談・支援員19、ホームヘルパー2、事務職員1、 保育士等1、介護支援専門員1、その他1
インターネット による求人登録 職業紹介	応募 77件	[主な職種] 介護職、相談・支援員、看護職、ホームヘルパー 保育士、介護支援専門員、セラピスト、事務職、看護職
	アクセス 31,243 件	・パソコン30,235件、モバイル1,008件
求人求職相談	相談 2,800件	[相談方法] ・来所1,344件、電話1,431件、ファックス10件、郵便15件 [相談内容] ・求人1,015件、求職1,785件
出張等相談会	出張 22人 イベント 34人	・定例出張相談会：長岡市、毎月第3金曜日 ・各種イベント：4回

(3) 福祉人材養成機関・団体連絡会議

今後の福祉人材確保に向けた取り組みについて、福祉人材養成校の現状と課題を意見交換し、介護福祉士養成施設、新潟県、福祉人材センターが連携した事業展開に資するため情報交換会を実施した。

期日・場所	協議事項
3月19日	・福祉人材養成校の定員充足・就職状況等

新潟市 (参加者11名)	・福祉人材センターの求人・求職状況 ・協議テーマⅠ「福祉人材養成校の学生確保への取り組みと今後の福祉人材育成」 協議テーマⅡ「求人票の受理について」
-----------------	--

(4) 福祉人材情報誌「は～と見える」の発行

福祉の仕事に対する理解増進に資する福祉情報や、福祉人材センター事業の周知、利用促進を図ることを目的に発行した。

- ▶ 発行部数 7,000部
- ▶ 配布先 社会福祉関係機関、社会福祉施設・事業所、市町村、市町村社協、地域振興局、各種相談所、図書館、大学、短大、高校、養成施設等
求職登録者、来所等相談者、各種講習会受講者等

(5) テレビスポット等の作成

福祉人材センター事業及び福祉人材無料職業紹介事業の周知を図るため、テレビCMスポット等による広報を行った

- ▶ 広報回数：12回

(6) 福祉職場説明会・ミニ面談会

① 福祉職場説明会（福祉の就職フェア2014）

期日・場所等	内 容
8月9日 新潟市 (参加者 196名) (参加法人75ヶ所)	・求人施設との集団・個別相談 ・施設種別ごとの仕事紹介 ・職能団体の紹介・相談 ・福祉人材確保機関との相談 ・情報提供

② 福祉のしごとミニ面談会

期日・場所等	内 容
11月27日・新潟市 (参加者 36名) (参加法人 7団体)	・求人施設との個別面談、面接 ・ハローワーク、ナースセンター、福祉人材センターの就職相談
2月7日・新潟市 (参加者 64名) (参加法人10団体)	・求人施設との個別面談、面接 ・ハローワーク、ナースセンター、福祉人材センターの就職相談

(7) 福祉人材確保訪問相談

社会保険労務士・中小企業診断士が福祉施設・事業所に訪問し、相談支援を実施した。

- ▶ 訪問数 3施設・事業所
- ▶ 相談内容 人事考課制度、労働条件の改善点及び制度改正の留意点に関する事項

(8) **社会福祉施設等人材担当者研修会** ※福祉職場定着促進実践事例研修会を同時開催

期日・場所等	内 容
3月25日 新潟市 (参加者 32名)	講義「職員採用等をめぐるトラブル対策」 特定社会保険労務士・中小企業診断士 金子 勉 実践発表「福祉人材確保、職員定着に向けた取り組みについて」 社会福祉法人 桜井の里福祉会 法人本部事務局長 高橋 学 社会福祉法人長岡三古老人福祉会 グリーンヒル与板 事務長 竹田 雅史

(9) **福祉マンパワー講習会（初任者コース）**

期日・場所等	内 容
第1回 2月13日 長岡市 (参加者 68名)	講義「これからの社会福祉について～福祉職場で働く人たちへ～」 特別養護老人ホームまちだ園 園長 本田 素子（長岡） 特別養護老人ホーム白ふじの里 園長 佐野 一美（新潟）
第2回 2月19日 新潟市 (参加者 93名)	講義「対人援助の技法について」 新潟県社会福祉士会会員 丸山 仁 講義「福祉職場における実践活動について」 新潟県介護福祉士会会員 大塚 トシ子（長岡） 新潟県介護福祉士会副会長 西本 円（新潟）

(10) **福祉職場出張相談（ハローワーク・長岡市社協）**

① 県内7カ所のハローワークでの定期的な福祉職場相談会

ハローワーク名	月回数	開催日	相談時間	実施回数	相談者数
長 岡	1回	第1火曜日	10:00～12:00	12回	48人
上 越	1回	第2金曜日 (12月～3月)	10:30～15:30 (11:00～15:00)	10回	170人
三 条	1回	第3火曜日	13:00～16:00	12回	45人
柏 崎	1回	第4火曜日 (12月～3月)	10:00～15:00	11回	34人
新発田	隔月	第1金曜日	13:00～16:00	5回	27人
新 津	1回	第2水曜日	13:00～16:00	10回	46人
巻	1回	第3水曜日	13:00～16:00	12回	64人
合 計				72回	434人

② ハローワーク主催の求人説明会での福祉職場相談会

ハローワーク名	期 日	会 場	相談者数
上 越	8月11日	リージョンプラザ上越	2人
上 越	11月11日	ハローワーク上越	4人
新 潟	11月15日	ハローワーク新潟	4人
南魚沼	11月28日	ハローワーク南魚沼	1人
柏 崎	2月28日	ワークプラザ柏崎	3人
合 計			14人

(11) 働きやすい職場づくりへの専門相談

アドバイザー	社会保険労務士・中小企業診断士	弁護士	税理士・公認会計士
相談件数	12件	1件	2件

【専門相談員（アドバイザー）】

- ・ 弁護士 村上 裕
- ・ 公認会計士・税理士 逸見 和宏
- ・ 社会保険労務士・中小企業診断士 金子 勉

(12) 人事労務管理相談セミナー

期日・場所等	内 容
第1回 2月25日 新潟市 (参加者 37名)	【人事労務管理相談セミナー】 講義「改正労働法（パートタイム労働法、労働安全衛生法）について」 講義・演習「ハラスメント防止研修（管理者向け）」 特定社会保険労務士・中小企業診断士 金子 勉 （新潟県福祉人材センター委嘱相談員）
第2回 2月27日 長岡市 (参加者 41名)	

(13) 福祉職場入門研修会

期日・場所等	内 容
第1回 11月23日 新潟市 (参加者 28名)	講義「これからの社会福祉について～福祉職場で働く人たちへ～」 新潟県介護福祉士会会長 宮崎 則男（新潟） 新潟県介護福祉士会副会長 大塚 トシ子（長岡） 講義「対人援助の方法について」 新潟県社会福祉士会会員 丸山 仁
第2回 11月30日 長岡市 (参加者 20名)	
	講義「福祉職場における実践活動について」 新潟県介護福祉士会会員 小林 明子（新潟） 新潟県介護福祉士会会員 山田 沙耶香（長岡）

(14) 福祉・介護就職フェア

期日・場所等	内 容
7月26日 長岡市 (参加者 63名) (参加法人39か所)	・ 求人施設との集団・個別相談 ・ 施設種別ごとの仕事紹介 ・ 職能団体の紹介・相談 ・ 福祉人材確保機関との相談 ・ 情報提供

(15) 「介護の日」県民のつどい

「介護の日」を契機に広く県民に介護についての理解と認識を深めてもらうことを目的に、新潟県、新潟県社会福祉協議会、新潟県介護福祉士会及び日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック新潟県部会の主催で開催した。（新潟日報社・新潟県社会福祉協議会・新潟市社会福祉協議会主催「福祉・介護・健康フェア2014」と併催）

期日・場所等	内 容
11月3日 新潟市 (来場者13,000名)	<p>[介護の喜びコンテスト表彰式] (介護福祉士養成施設協会) 作文&写真コンテスト入賞作品の紹介及び表彰式</p> <p>[各種イベント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成校パネル展示 (介護福祉士養成施設協会) ・ワンポイント介護講座 (県介護福祉士会) ・高齢者疑似体験 (県介護福祉士会) ・介護相談コーナー (県介護福祉士会) ・栄養相談コーナー (県栄養士会) ・就職相談コーナー (ハローワーク、福祉人材センター) ・雇用・管理相談コーナー (介護労働安定センター)

(16) 福祉施設見学会

福祉・介護の仕事に関心がある方を対象に福祉施設見学会を開催し、福祉職場への理解を深めることによる円滑に就職活動を支援した。

- ①見学場所 社会福祉法人更生慈仁会 特別養護老人ホーム はまゆう
施設入所支援・生活介護 十字園
- ②見学時間 2時間程度
- ③回数等 全10回 (5月～2月、月1回、10名程度)
- ④参加数 57名 (うち求職登録10名)

(17) 福祉人材養成機関等訪問相談会

福祉人材養成機関名	実施回数	登録者数
新潟県介護福祉士会	2回	18名
ハピネスステーション	1回	8名
三幸福祉カレッジ	3回	41名
日本子ども福祉専門学校	1回	4名
介護労働安定センター	2回	38名
合計	9回	109名

(18) 福祉職場体験事業

体験者	体験者数	体験日数	体験延日数
就労希望者	27名	2～5日	86日
高校生	43名	2日	86日

講習内容	実施回数	受講者数
高齢者疑似体験講習	34回	423名
福祉用具活用講習	30回	425名
高齢者向け介護食講習	9回	138名

(19) 佐渡福祉人材フォーラム（福祉人材確保に向けた地域モデル事業）

佐渡市内の福祉関係者が一堂に会し、地域包括ケア、権利擁護、福祉人材確保等について協議し、課題解決を図る取り組みを考え、実践することを目的に、新潟県社会福祉協議会及び佐渡市社会福祉協議会の主催で開催した。

11月13日 佐渡市 (参加者161名)	〔実践報告〕 社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会 事務局長 細木 寅雄 社会福祉法人 大佐渡福祉会 特別養護老人ホーム大浦の里 園長 井野端 司 ハローワーク佐渡 統括職業指導官 中川 彰弘 〔統括講演〕 「市町村主権時代における地域包括ケアとコミュニティワーク」 公益財団法人 テクノエイド協会理事長、東北福祉大学 大学院教授、日本社会事業大学名誉教授 大橋 謙策
----------------------------	---

2 介護福祉士等修学資金貸付事業

(1) 介護福祉士等修学資金貸付事業（福祉・介護人材の緊急的な確保対策）

福祉・介護分野への就労の促進を図ることを目的として、介護福祉士及び社会福祉士養成施設の入学者を対象に修学資金の貸付けを行った。

① 申込・貸付実績

	平成26年度申込		平成26年度貸付決定		平成26年度貸付送金額	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
修学資金	19	24,450	19	24,450	65	38,460
入学準備金	19	3,720	19	3,720	19	3,720
就職準備金	15	3,000	15	3,000	28	5,600
生活費加算	5	3,360	5	3,360	6	2,040
合計	19	34,530	19	34,530	65	49,820
累計(21～26年度)	603	990,280	595名	970,040	641	909,110

② 養成校別貸付者数・卒業後の新潟県内への福祉職場就労状況（各年度卒業時状況）

	介護福祉士養成校	社会福祉士養成校	県内の福祉職場就労者
貸付者合計 (594名)	563名	31名	—
平成21年度卒業生(9名)	5名	4名	9名
平成22年度卒業生(60名)	54名	6名	58名
平成23年度卒業生(147名)	137名	10名	132名
平成24年度卒業生(148名)	140名	8名	137名
平成25年度卒業生(132名)	131名	1名	121名
平成26年度卒業生(36名)	35名	1名	32名
卒業生合計 (532名)	502名	30名	489名

③ 貸付金の返還及び返還免除の状況

	平成26年度		累 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
貸付金の返還	34	14,717,398	71	37,859,093
貸付金の免除	15	18,073,334	15	18,073,334

3 社会福祉従事者福利厚生事業

(1) 県民間社会福祉職員退職積立基金事業

本会会員である民間社会福祉施設・団体職員の退職の際に、一時金等を支給する退職手当制度の運営に当たり、資産管理及び運営状況等の情報を開示し、適正な制度運営を行った。

また、平成26年10月から掛金の口座振替を実施し、平成27年2月からは本会ホームページを介した各種申請の電子化を導入することで、事務の簡素化を図った。

① 加入状況（平成27年3月31日現在）

- ▶ 加入施設・団体数：579（新規加入数15、脱退数1）
- ▶ 加入職員数：20,703名

② 給付状況（平成27年3月31日現在）

- ▶ 脱退一時金支給1,477名、年度内年金支給申請者16名

③ 運営委員会

期日・場所	内 容
第1回 8月6日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度収支決算及び運営実績 ・平成25年度運用実績と今後の運用方針 ・会員専用ホームページの制作と掛金口座振替の実施（報告）
第2回 2月4日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度運営状況及び補正予算（案） ・平成27年度収支予算（案） ・平成26年度運用実績と今後の市場の見通し ・掛金口座振替の移行状況とホームページによる電子申請の経緯（報告）

(2) 社会福祉施設職員退職手当共済事業

独立行政法人福祉医療機構が取り扱う「社会福祉施設職員等退職手当共済制度」の事務手続き等、適正な制度運営を行った。

(3) 社会福祉事業従事者福利厚生事業（福利厚生センター）

民間社会福祉事業従事者の福利厚生事業を全国規模で実施する「福利厚生センター」の県事務局として、会員交流事業等の実施により福利厚生の充実に努めた。

また、新潟県内における福利厚生センター加入施設の担当者に向けて、事業に対するニーズを把握し、今後の事業運営の参考とするためにアンケート調査を行い、その結果を事業運営に反映するよう努めた。

- ▶ 加入法人数：46法人(138事業所)
- ▶ 加入職員数：4,108名

① 福利厚生企画・情報会議

期日・場所	協 議 事 項
1月22日 新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度福利厚生センター事業実施状況について ・平成26年度福利厚生センター会員交流事業について ・平成27年度福利厚生センター実施事業について

② 会員交流事業

期日・場所	内 容	参加人数	
4月9日	新潟市	・坂本龍一 with 東京フィルハーモニー交響楽団	9名
6月7日	新潟市	・美輪明宏版愛の讃歌アディット・ピアフ物語	11名
6月22日	長岡市	・それいけ！アンパンマンミュージカル 勇気の花に歌おう	55名
5月13日	新潟市	・福田こうへいコンサートツアー-2014～おかげさま～	2名
6月1日	新潟市	・よしもと 漫才・落語バラエティ公演3	20名
5月24日	新潟市	・アンジェラ・アキ CONCERT・TOUR2014	30名
8月9日	新潟市	・夏巡業 大相撲 新潟場所	18名
7月13日	新潟市	・ファンタジー・オン・アイス in 新潟	68名
5月2日～5月6日	新潟市	・トミカ博 in Niigata	152名
6月18日	新潟市	・東京スカパラダイスオーケストラコンサート	12名
6月28日	新潟市	・AAAコンサート	16名
7月30日	新潟市	・ひめ風 (南こうせつ 伊勢正三ジョイントコンサート)	10名
7月24日	新潟市	・ブラスト	9名
8月5日	新潟市	・プロ野球「横浜対巨人」	84名
7月4日～8月31日	新潟市	・新潟が生んだジブリの動画家 近藤喜文展	76名
8月3日	新潟市	・ディズニークラシック！ ミッキーのザ・マジックショー	46名
8月10日	長岡市	・米山でんじろうサイエンスショー in 長岡	25名
8月23日～8月31日	新潟市	・鉄道ランド	96名
8月30日・8月31日	新潟市	・ミュージカル「ミスサイゴン」	7名
8月17日	新潟市	・佐渡裕 シエナウインドオーケストラ2014	14名
9月7日	新潟市	・ミュージカル「アニー」	8名
8月10日	新潟市	・DREAMS COME TRUEコンサートツアー-2014	114名
8月1日～1月31日	県内	・映画鑑賞割引券 (提携映画館)	1,987名
8月22日～8月23日	千葉県	・ディズニークラシック 1泊2日の旅1	29名
10月4日～10月5日	千葉県	・ディズニークラシック 1泊2日の旅2	41名
11月20日～1月31日	県内	・ちょっとセレブに日帰り温泉でプラスアルファのリフレッシュ	424名
10月10日～3月30日	東京都	・職場で、ご家族で計画立てて、みんなで旅行にでかけよう！	138名
8月28日	新潟市	・コンポーザピアニスト・フェスティバル2014	3名
11月29日	新潟市	・ディズニークラシック・オン・クラシック	17名
12月25日	新潟市	・鼓童ワン・アース・ツアー-2014	19名
8月30日	新潟市	・音楽と髭	30名
10月2日	新潟市	・小田和正2014～本日 小田日和～	93名
10月11日	長岡市	・綾小路きみまろ 爆笑スーパーライブ	56名

11月8日～12月25日	新潟市	・絵本原画展「きかんしゃトーマスとなかまたち」	20名
3月28日	新潟市	・コロッケコンサート	33名
3月5日	新潟市	・辻井伸行 日本ツアー《情熱》	9名
1月11日	新潟市	・ウーン・ヨハンシュトラス管弦楽団 ニューイヤ・コンサート2014	7名
1月15日	新潟市	・福山☆冬の大感謝祭 其の十四 福山雅治コンサート	60名
1月17日	千葉県	・特別企画 でいずに一ふあんぱーていー	44名
2月11日～3月1日	阿賀野市	・世界の洋らん展 in にいがた	33名
12月19日～3月31日	県内	・ぐるめでリフレッシュ ミールクーポン	307名

③ 会員交流事業（研修会受託事業）

期日・場所	研 修 内 容
3月1日 新潟市	メンタルヘルス研修 東京おもちゃ図書館館長 多田千尋

④ 会員交流事業（施設利用事業等）

メニュー	施 設 等 名
入場料・利用料助成	サントピアワールド、安田フラワーガーデン、朝日きれい館、アケル長岡、ミソなかさと、だいろの湯、舞子リゾート（5件）

⑤ 地域開発メニュー（施設利用事業等）

メニュー	施 設 等 名
利用料割引	上越グリーンプラザホテル、新樽ヶ橋温泉、アハウスたいない、ホテル太閤、NASPAニューオータニ
入館料割引	野天風呂湯元龍泉、桂の関温泉ゆ〜む、秋葉温泉花水、多宝温泉だいろの湯、メイワサンピア
リフト券等割引	赤倉観光リゾートスキー場、六日町スキーリゾート、奥只見丸山スキー場、NASPAスキーガーデン 舞子スノーリゾート、湯沢中里スキー場、ニノックススノーパーク
割引斡旋	白石薬品(株)家庭用常備薬等、丸大食品(株)お中元お歳暮商品
チケット先行予約	キョードー北陸、FOB企画、サウンドソニック、テレビ新潟、新潟総合テレビ

推進目標 2 介護の理解促進と知識・技術の普及・促進

1 介護実習・普及センター運営事業

(1) 介護実習・普及センター運営委員会

期日・場所	協 議 事 項
1月30日 新潟市	・平成26年度介護実習・普及センター事業実施状況について ・平成27年度介護実習・普及センター事業計画(案)について

(2) 高齢者介護の基礎知識・技術の普及

① 県民介護知識・技術習得講座（総合習得コース）

期日・場所等	内 容
5月コース 9・14・15日 20・22・26日 新潟市 (参加者26名)	講義「介護保険制度の仕組みとサービス」 特別養護老人ホームこうめの里 園長 宮崎 則男 新潟市地域包括支援センターにいつ日宝町管理者 本間 良 講義「認知症の理解」 高齢者総合福祉相談センター福住 センター長 遠藤 真一 高齢者総合施設中之島 総括主任 佐藤 みどり 桜ガーディンプレイス福住 支配人 富田 幸二 特別養護老人ホームみしま園 主任 名地 一直
7月コース 9・16・17日 18・23・28日 長岡市 (参加者21名)	講義「高齢者・障がい者の理解」 新潟県燈々会在宅保健師の会会員 長沼 典子、青木 直子、加藤 隆子、近 百合 講義「在宅介護の基礎知識」 新潟県介護福祉士会会員 結城 ミヨイ、近藤 トシコ
9月コース 2・9・10日 17・19・29日 新潟市 (参加者30名)	講義「地域におけるつながり」 敬和学園大学准教授 山崎 ハコネ 体験「高齢者疑似体験と福祉用具」 (株)はあとふるあたごユニゾンプラザ店長・福祉用具専門相談員 安達 勝彦
10月コース 3・8・9日 16・22・27日 新潟市 (参加者30名)	実技「基本介護技術の実際」 新潟県介護福祉士会会員 長谷川 美穂子、寺崎 明子、岩崎 朋子、近藤 トシコ、 佐藤 久枝、高橋 恵子 実技「家庭における緊急時の対応」 日本赤十字社救急法指導員 長島 和正

② 県民介護知識・技術習得講座（介護技術習得コース）

期日・場所等	内 容
第1回 6月10・11・12日 新潟市 (参加者29名)	実技「基本介護技術の実際」 新潟県介護福祉士会会員
第2回 8月27・28・29日 長岡市 (参加者28名)	佐藤 久枝、長谷川 美穂子、近藤 トシコ、 岩崎 朋子、後藤 整子、高橋 恵子
第3回 11月12・13・14日 新潟市 (参加者30名)	

③ 県民介護知識・技術習得講座（介護体験・入門コース）

期日・場所等	内 容
第1回 6月25日 上越市 (参加者18名)	実技「仰臥位から端座位への介護法」 実技「車椅子及びポータブルトイレの介助」 新潟県介護福祉士会介護福祉士 佐藤 久枝、長谷川 美穂子
第2回 8月3日 新潟市 (参加者30名)	講座「認知症の理解」 高齢者総合福祉相談センター福住 センター長 遠藤 真一 実技「高齢者疑似体験と福祉用具」 (株)はあとふるあたごユニゾンプラザ店長・福祉用具専門相談員 安達 勝彦
第3回 8月10日 新潟市 (参加者30名)	講座「介護保険制度の仕組みとサービス」 特別養護老人ホームこうめの里 園長 宮崎 則男 実技「食事介助と排泄の介助」 新潟県介護福祉士会介護福祉士 佐藤 久枝、長谷川 美穂子
第4回 8月17日 新潟市 (参加者29名)	実技「車椅子の介助」 実技「在宅介護に活かす清潔の介助」 新潟県介護福祉士会介護福祉士 近藤 トシコ、岩崎 朋子

(3) 介護を中心とした高齢者のニーズにかかる情報提供

- ▶ 福祉用具の展示
- ▶ 福祉用具・住宅改修等の相談、助言及び高齢者疑似体験の実施
- ▶ 福祉用具に関する情報提供と普及促進

(4) 福祉用具・住宅改修に関する専門知識の普及

介護支援専門員及び地域包括・在宅介護支援センター等職員を対象に、福祉用具・住宅改修等の理解と知識の習得、利用者への適切な支援を目的として研修会を開催した。

① 福祉用具・住宅改修研修会

期日・場所等	内 容
第1回 9月11・17日 10月9日 長岡市 (参加者46名)	講義「直腸癌人工肛門造設、脳梗塞再発（左片麻痺）を合併した在宅介護 の中で考えさせられた課題」 「住宅改修提案のポイント」 実技「理由書作成のポイント」 「演習事例」「グループワーク発表」
第2回 11月20・28日 12月10日 新潟市 (参加者91名)	新潟県作業療法士会 理事 松本 潔 福祉住環境コーディネーターネットワーク会長 佐藤 千尋 新潟県理学療法士会 副会長 五十嵐 進 日本福祉用具供給協会 鈴木 重雄

2 介護等体験事業(教育職員免許法の特例に伴う「介護等の体験」事業)

教育職員免許法の特例に基づき、小・中学校教諭の普通免許取得希望者に義務づけられている介護等体験の社会福祉施設への受入が適正かつ円滑に実施されるよう、斡旋、調整を行った。

▶ 受入調整実績：体験受入施設数212施設 体験者数627名

推進目標3 福祉従事者の養成と資質向上の推進

1 社会福祉研修センター運営事業

(1) 社会福祉研修事業運営委員会

期日・場所	協 議 事 項
1月27日 新潟市	・平成26年度事業実施状況及び平成27年度事業計画(案)について

(2) 福祉行政新任職員研修事業

福祉行政に携わる新任職員を対象に、行政職員として必要な知識・技術の習得と役割の自覚、業務の適正処理を図ることを目的に実施した。

期日・場所等	内 容
5月15日 ～16日 新潟市 (受講者40名)	講義「社会福祉行政論」 新潟大学歯学部口腔生命福祉学科教授 高橋 英樹 講義「生活保護と生活困窮者自立支援制度について」 県福祉保健部福祉保健課 保護係 主任 小林 誠 講義「児童の福祉施策」 県福祉保健部児童家庭課副参事少子化対策・保育係長 中村 広 同 副参事・家庭福祉係長 上島 秀樹 講義「高齢者の保健福祉施策」 県福祉保健部高齢福祉保健課副参事・高齢化対策係長 小川 智子 講義「障害者の福祉施策」 県福祉保健部障害福祉課 自立支援係 主任 銀山 清香 講義「地域福祉の推進について」 新潟県社会福祉協議会地域福祉課 課長代理 中原 敦子 講義・グループワーク「地域包括ケアを推進するために」 新潟大学歯学部口腔生命福祉学科准教授 中川 兼人

(3) 社会福祉施設関係職員研修事業

社会福祉施設役職員を対象に、経験年数に応じた階層別研修や、職種・研修ニーズを考慮した課題別の研修により、業務に従事する上で必要な専門知識や技術の習得を図ることを目的に実施した。

① 新任職員研修

期日・場所等	内 容
第1回 5月13日～14日 新潟市 (受講者38名)	講義「社会福祉の理念・動向」 新潟県介護福祉会会長 宮崎 則男 講義「社会福祉の理念・動向」 新潟県社会福祉協議会福祉人材課課長 渡邊 豊
第2回 5月20日～21日 長岡市 (受講者51名)	講義・演習「福祉サービスの実践」 ケアプランあかり管理者 西本 円 障害者支援施設新潟みずほ園生活支援課課長補佐 金子 浩 講義・演習「チームワークとリーダーシップ」～チームワークの基本～
第3回 5月27日～28日 長岡市 (受講者53名)	新潟 NPO 協会常務理事 富澤 佳恵 特定非営利活動法人ワーキングウイメンズアソシエーション 西條 和佳子 講義・演習「組織活動」～組織活動の基本・職場の基本動作～ 特別養護老人ホーム豊浦愛宕の園施設長 後藤 孝志
第4回 6月3日～4日 新潟市 (受講者107名)	講義・演習「能力開発」～自己啓発の基本～ 特別養護老人ホーム豊浦愛宕の園施設長 後藤 孝志
第5回 6月10日～11日 新潟市 (受講者104名)	
第6回 6月17日～18日 新潟市 (受講者118名)	
第7回 7月12日～13日 新潟市 (受講者91名)	

② 中堅職員研修

期日・場所等	内 容
第1回 6月26日～27日 新潟市 (受講者75名)	講義・演習「職場の問題解決」～自律的問題解決～ 特別養護老人ホーム豊浦愛宕の園施設長 後藤 孝志 講義・演習「福祉サービスの実践」 新潟青陵大学短期大学部人間総合学科准教授 柳澤 利之
第2回 7月3日～4日 新潟市	新潟青陵大学福祉心理学科 助教 三浦 修 障害福祉サービス事業所ポプラの家所長 山賀 亮一 講義・演習「チームワークとリーダーシップ」～チームワークの促進～

(受講者116名) 第3回 7月8日～9日 新潟市	特定非営利活動法人新潟 NPO 協会理事 グローバルマーケティング（株）代表取締役社長 今井 進太郎	今井 進太郎
(受講者127名) 第4回 7月30日～31日 新潟市	講義・演習「組織活動」～組織活動の自律的遂行～ 新潟医療福祉大学副学長・社会福祉学部長 丸田 秋男	丸田 秋男
(受講者115名) 第5回 8月7日～8日 新潟市 (受講者135名)	講義・演習「能力開発」～自己啓発・相互啓発の基本～ 新潟医療福祉大学副学長・社会福祉学部長 丸田 秋男	丸田 秋男

③ 指導的職員研修

期日・場所等	内 容	
第1回 8月27日～28日 新潟市 (受講者132名)	講義・演習「社会福祉の理念・動向」 新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学科教授 高橋 英樹	高橋 英樹
第2回 9月10日～11日 新潟市 (受講者123名)	講義・演習「能力開発」～職員指導の育成・展開～ 新潟医療福祉大学社会福祉学部教授 松山 茂樹	松山 茂樹
	講義・演習「職場の問題解決と課題形成」 新潟医療福祉大学社会福祉学部教授 松山 茂樹	松山 茂樹
	講義・演習「チームワークとリーダーシップ」 特定非営利活動法人新潟 NPO 協会理事 グローバルマーケティング（株）代表取締役社長 今井 進太郎	今井 進太郎
	講義・演習「組織活動」～部門及び全所の組織活動の管理～ 新潟医療福祉大学副学長・社会福祉学部長 丸田 秋男	丸田 秋男

④ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈初任者コース〉

期日・場所等	内 容	
9月29日～30日 新潟市 (受講者59名)	講義・演習「研修の目的」 「福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理」 新潟県介護福祉士会会長 宮崎 則男	宮崎 則男
	講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「組織の一員としてのフォロワーシップの醸成」 新潟県介護福祉士会会長 宮崎 則男	宮崎 則男
	講義・演習「対人関係マナーとコミュニケーション」 合同会社ふくしeラーニング代表 丸山 仁	丸山 仁
	講義・演習「福祉職員としての能力開発」 「業務課題の解決と実践研究の進め方の基礎」	

	<p>「福祉サービスとリスクマネジメント」 他啓発科目 合同会社ふくしeラーニング代表 丸山 仁</p> <p>講義・演習「行動指針マップの策定」 新潟県介護福祉士会会長 宮崎 則男</p> <p>講義・演習「キャリアデザインと行動計画の策定」 合同会社ふくしeラーニング代表 丸山 仁</p>
--	--

◎⑤ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈中堅職員コース〉

期日・場所等	内 容
10月1日～2日 新潟市 (受講者58名)	<p>講義・演習「研修の目的」 「福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理」 障がい者支援施設 緑風園園長 渡辺 陽一</p> <p>講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「中堅職員としてのフォローアップの醸成」 特別養護老人ホーム 白ふじの里園長 佐野 一美</p> <p>講義・演習「チームケアと問題解決」 障がい者支援施設 緑風園園長 渡辺 陽一</p> <p>講義・演習「中堅職員としての能力開発と後輩職員の指導」 「業務課題の解決と実践研究」 「利用者の尊厳を守る福祉サービスとリスクマネジメント」 他啓発科目 障がい者支援施設 緑風園園長 渡辺 陽一</p> <p>講義・演習「行動指針マップの策定」 特別養護老人ホーム 白ふじの里園長 佐野 一美</p> <p>講義・演習「キャリアデザインと行動計画の策定」 特別養護老人ホーム 白ふじの里園長 佐野 一美</p>

◎⑥ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈チームリーダーコース〉

期日・場所等	内 容
10月6日～7日 新潟市 (受講者81名)	<p>講義・演習「研修の目的」 「チームリーダーとしてのキャリアデザインと セルフマネジメント」 特別養護老人ホーム 豊浦愛宕の園施設長 後藤 孝志</p> <p>講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成」 特別養護老人ホーム 豊浦愛宕の園施設長 後藤 孝志</p> <p>講義・演習「問題解決等会議の効果的な進め方（ファシリテーション）」 特別養護老人ホーム 豊浦愛宕の園施設長 後藤 孝志</p> <p>講義・演習「チームリーダーとしての自己成長と職場研修の推進」 「業務課題の解決と実践研究」</p>

	「サービスの質の確保・向上リスクマネジメント」	他啓発科目
	就労継続支援施設 ポプラの家施設長	山賀 亮一
	講義・演習「行動指針マップの策定」	
	就労継続支援施設 ポプラの家施設長	山賀 亮一
	講義・演習「キャリアデザインと行動計画の策定」	
	就労継続支援施設 ポプラの家施設長	山賀 亮一

◎⑦ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〈管理者コース〉

期日・場所等	内 容
8月20日～21日 新潟市 (受講者49名)	講義・演習「研修の目的」 「管理職員としてのキャリアデザインと環境整備」 講義・演習「福祉サービスの基本理念と倫理」 「組織・部門管理者としてのリーダーシップの醸成」 講義・演習「人材アセスメント」 講義・演習「人材育成環境の整備と推進」 「法人・事業所の業務の改善、組織の問題解決」 「福祉経営とリスクマネジメント」 他啓発科目 講義・演習「行動指針マップの策定」 講義・演習「キャリアデザインと行動計画の策定」 日本女子大学 社会福祉学科教授 久田 則夫

◎⑧ 福祉施設運営管理者研修

期日・場所等	内 容
9月5日 新潟市 (受講者124名)	講義・演習「社会福祉施設における組織管理・経営管理」 特定非営利活動法人新潟 NPO 協会理事 グローバルマーケティング(株) 代表取締役社長 今井 進太郎

◎⑨ 社会福祉法人監事研修

期日・場所等	内 容
7月28日 新潟市 (受講者43名)	講義「社会福祉の動向と法人監事の役割」 ～監事監査における適正な経営管理の視点～ TKC 社会福祉法人経営研究新潟県リーダー 土田 茂博 講義「会計監査・業務監査のポイント」 渡邊信子税理士事務所代表(税理士) 渡邊 信子

◎⑩ 社会福祉トップセミナー

期日・場所等	内 容
第1回 7月22日 新潟市	講義「事業所における虐待予防と対応について」 ～事例を通して予防と対応策について考える～ 株式会社 アイギス 代表取締役 脇 貴志

(受講者54名)	
第2回 1月20日 新潟市 (受講者108名)	<p>講義「社会福祉法人の財務運営について」 太陽有限責任監査法人 特別顧問 公認会計士 梶井 久</p> <p>報告「新潟県における地域公益活動の実践」 新潟県社会福祉法人経営者協議会 青年部会長 佐藤 義尚</p> <p>説明「全国経営協ホームページによる情報公開の取組について」 全国社会福祉法人経営者協議会 事務局 福山 雅人</p> <p>講義「社会福祉法人を取り巻く状況と、これからの経営戦略」 全国社会福祉法人経営者協議会 介護保険事業経営委員長 平田 直之</p>

⑪ 職場研修担当職員研修〈前期コース〉

期日・場所等	内 容
10月16日～17日 新潟市 (受講者88名)	<p>講義「これからの福祉人材育成と職場研修」 ～職場研修の考え方と仕組みを理解する～</p> <p>講義・演習「職場研修の考え方と推進方法」 ～職場研修推進の基本概念を共有化する～</p> <p>講義・演習「職場研修の推進実態を診断する」 ～自職場の現状を診断し推進施策を明確にする～</p> <p>講義・演習「研修ニーズ分析と年度計画の策定」 ～年度研修計画策定の基礎づくりを行う～ 合同会社ふくしeラーニング代表 新潟県立大学 非常勤講師 丸山 仁</p>

⑫ 職場研修担当職員研修〈後期コース〉

期日・場所等	内 容
12月16日～17日 新潟市 (受講者95名)	<p>講義・演習「OJT活性化施策の推進」 ～OJTの現状を確認し活性化の方向づけを行う～</p> <p>講義・演習「意図的・計画的指導の推進」 ～OJT計画策定の基礎づくりを行う～</p> <p>講義・演習「OFF-JTによる職場研修の推進」 ～問題解決討議法の進め方を体験的に修得する～</p> <p>講義・演習「職場研修担当者の役割と課題」 ～役割を確認しアクションプランを策定する～ 全国社会福祉協議会中央学院副部長・教授 後藤 真一郎</p>

⑬ 社会福祉研究発表会

期日・場所等	内 容
2月3日 新潟市 (受講者126名)	<p>[基調講演] 「社会福祉実践の専門性の向上と研究の必要性」 日本社会事業大学 専門職大学院 准教授 木戸 宜子</p> <p>[研究発表]</p>

・「原因不明の左上下肢麻痺をかかえた利用者様への関わり」	シュートステイ なじよも 介護福祉部 菊池 健太
・「看取り 介護への関わりとケアマネジメント活かしていきたい事」	特別養護老人ホーム白鳥荘 介護支援専門員 櫻井 美智枝
・「事故ゼロにできるのか!? リスクマネジメントの実際」	特別養護老人ホーム 菅名の里 介護職員 岩城 洋平 看護師 木村 まり子
・「地域ケア会議の構築」 ～顔の見える関係作り～	三条市地域包括支援センター嵐北 センター長 鈴木 泰子 塩坪 健児 平出 明彦 小山 まゆみ
・「機能訓練特化型デイサービスの症例報告」	メディカルフィットネスゆあ～ず 健康運動指導士 根津 龍太
・「他施設への移行支援について」	救護施設 有明荘 主任指導員 中川 友也
・「理念を実現するために」 ～一人ひとりへの支援～	障がい者支援施設 松瀧の園 生活支援係長 坪谷 宏伸
・「私たちは代弁者」 ～誰に伝えたいのか、この思い～	障害福祉サービス事業所 浦田の里（通所） 生活支援員 長濱 歩美
・「適応障害（抑うつ病）と共に歩む」	社会復帰支援サービス事業所 グループホーム スカイー 1 森谷 美紀
・「児童養護施設の現状と課題」	児童養護施設 新潟県若草寮 児童指導員 山岸 泰裕
・「学童保育の中で」	母子生活支援施設 みこころ荘 副施設長 吉越 正伸
・「障害児を持つ父親の育児参加状況について」	重症心身障害児施設 長岡療育園 介護福祉士 吉田 美紀
[助言・講評]	新潟県介護福祉会会長 宮崎 則男 新潟医療福祉大学副学長・社会福祉学部長 丸田 秋男 新潟県児童養護施設協議会会長 高野 善晴

⑭ 接遇研修〈初任者コース〉

期日・場所等	内 容
第1回 6月9日 長岡市 (受講者69名)	講義「接遇の基本～福祉サービスの心構えとマナー」 講義・演習「職場における実践マナー」 特別養護老人ホーム白ふじの里園長 佐野 一美

第2回 6月23日新潟市 (受講者77名)	特別養護老人ホーム分水の里管理課主任 笹川 忍
第3回 7月1日新潟市 (受講者83名)	

⑮ 接遇研修〈リーダー養成コース〉

期日・場所等	内 容
第1回 6月5日長岡市 (受講者54名)	講義「接遇対応の基本」 講義・演習「リーダーの役割と問題解決の方法」 ～職員の意識改革を考える～
第2回 6月20日新潟市 (受講者89名)	合同会社ふくしeラーニング代表 丸山 仁
第3回 6月25日新潟市 (受講者64名)	

⑯ コミュニケーションスキルアップ研修〈初任者コース〉

期日・場所等	内 容
9月2日 新潟市 (受講者164名)	講義・演習「話上手よりも聞き上手になろう」 講義・演習「相手に届けたい声、相手に届く挨拶」 「タッチによるコミュニケーション インタラクション」 「自分の対人的位置と対怖じん距離の傾向や特徴を知る」 講義・演習「苦手意識を克服しよう」 講義・演習「伝えようとする意思」 新潟青陵大学福祉心理学科教授 荒木 重嗣

⑰ コミュニケーションスキルアップ研修〈リーダーコース〉

期日・場所等	内 容
9月9日 新潟市 (受講者121名)	講義・演習「ファシリテーション型リーダーシップと関連技術」 講義・演習「ファシリテーション技術の基本」 講義・演習「話し合いを促す能力に拠って立つリーダーへ」 まとめと振り返り 新潟青陵大学福祉心理学科教授 荒木 重嗣

⑱ メンタルヘルス研修〈一般職員コース〉

期日・場所等	内 容
9月18日 新潟市 (受講者115名)	講義・演習「メンタルヘルスの基礎知識」 講義・演習「対人援助職のメンタルヘルス」 「セルフケアの具体的方法」 新潟医療福祉大学社会福祉学科学科長・教授 伊東 正裕

⑲ メンタルヘルス研修〈管理者コース〉

期日・場所等	内 容
9月18日 新潟市 (受講者64名)	講義・演習「メンタルヘルスの基礎知識」 講義・演習「対人援助職のメンタルヘルス」 「管理監督者の役割とセルフケア」 新潟医療福祉大学社会福祉学科学科長・教授 伊東 正裕

⑳ 認知症ケア・対応研修

期日・場所等	内 容
第1回 8月29日新潟市 (受講者177名)	講義・演習「認知症疾患の理解」 講義・演習「認知症ケアと対応への考えかた」 ～私たちはなぜ認知症症状を問題としてみてしまうのか～
第2回 9月16日新潟市 (受講者141名)	新潟青陵大学福祉心理学科教授 荒木 重嗣

㉑ 気づく力研修

期日・場所等	内 容
7月14日 新潟市 (受講者154名)	講義・演習「今、社会事業所の運営管理者に求められること」 ～人が育ち、職場が変わる気づき力～ 日本女子大学 社会福祉学科教授 久田 則夫

㉒ アクティビティケア研修

期日・場所等	内 容
第1回 6月12日 新潟市 (受講者89名)	講義「アクティビティ・ケア基礎理論」 実技「アクティビティ・トイ作成」 高齢者アクティビティ開発センター代表 多田 千尋
第2回 7月10日 長岡市 (受講者72名)	実践発表「アクティビティ・ケア実践活動について」 新潟市生きがい通所サービス 鈴木 充 うちの実家 分家てつ家主催 小林 優子 小林 哲也 実技「ゲーム大会」 講義・まとめ「アクティビティ・ケアの実践にむけて」 高齢者アクティビティ開発センター代表 多田 千尋

㉓ コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修

期日・場所等	内 容
8月5日～6日 新潟市 (受講者59名)	講義「コミュニティソーシャルワークの視点と方法」 講演「コミュニティソーシャルワークの視点による個別アセスメント」 講演「コミュニティソーシャルワークの視点による地域アセスメント」 講演「コミュニティソーシャルワークの視点によるプランニング」 総括 日本社会事業大学 福祉計画学科准教授 菱沼 幹男

2 介護支援専門員の養成・資質向上推進事業

(1) 介護支援専門員実務研修受講試験

介護支援専門員になるために必要な実務研修の受講を希望する者に対し、事前に介護保険制度、要介護認定、居宅サービス計画等に関する専門知識を有しているかを確認するための試験を、新潟県の指定機関として実施した。

- ▶ 介護支援専門員実務研修受講試験等実施本部の設置
- ▶ 試験日 平成26年10月26日

【受験者及び合格者数等状況】

区 分	受験申込者数	受 験 者 数	合 格 者 数	合 格 率
人数・合格率	3,491名	3,315名	685名	20.7%